

竹富町文化振興・観光交流拠点
基本構想書 【資料編】

令和3年3月

資料編 目 次

資料編①竹富町文化財一覧	1
資料編②町民意向調査まとめ	
・ 学校関係者および町民の意向調査	5
・ 観光客および観光業の意向調査	14
・ 地域関連団体の意向調査	23
資料編③竹富町における諸計画	
・ 竹富町総合計画（第5次基本構想/第9次基本計画）	27
・ 竹富町海洋基本計画（第2次）	29
・ 竹富町観光立町宣言、竹富町観光振興基本計画	32
・ 竹富町景観計画	33
資料編④拠点施設の利用者数、面積規模の検討	
・ 類似施設データからの利用者数の類推	34
・ 施設規模の考え方	39
資料編⑤類似施設事例	
・ 国内、市立・町立の類似施設における面積規模、諸室構成等の把握	40

資料編①竹富町文化財一覧

国指定文化財

種別	名称	指定年月日	所在地	所有者等
天然記念物	星立天然保護区域	昭和47年5月15日	字西表 星立	国有林
天然記念物	船浦のニッパヤシ群落	昭和47年5月15日	字上原 船浦	国有林
天然記念物	仲間川天然保護区域	昭和47年5月15日	西表島東部	国有林
天然記念物	ウブンドルのヤエヤマヤシ群落	昭和47年5月15日	西表島東部	国有林
天然記念物	仲の神島海鳥繁殖地	昭和47年5月15日	仲の神島	国有林
特別天然記念物	イリオモテヤマネコ	昭和52年3月15日	地域を定めずに指定	
特別天然記念物	カンムリワシ	昭和52年3月15日	地域を定めずに指定	
天然記念物	オカヤドカリ	昭和45年11月12日	地域を定めずに指定	
天然記念物	セマルハコガメ	昭和47年5月15日	地域を定めずに指定	
天然記念物	リュウキュウキンバト	昭和47年5月15日	地域を定めずに指定	
天然記念物	古見のサキシマスオウノキ群落	昭和53年3月22日	字古見1078	竹富町
重要無形民俗文化財	竹富島の種子取	昭和52年5月17日		竹富島民俗芸能保存会
重要無形民俗文化財	西表島の節祭	平成3年2月21日		西表民俗芸能保存会
史跡	下田原城跡	平成15年3月25日	字波照間	
重要無形民俗文化財	小浜島の盆、結願祭、種子取祭の芸能	平成19年3月7日		小浜民俗芸能保存会
史跡	先島諸島火番盛（小城盛、プズマリ、タカニク、中森〔波照間ムリ〕、コート盛、中森、大岳）	平成19年3月23日		
重要文化財（建造物）	旧与那国家住宅	平成19年12月4日	字竹富536	竹富町、与那国運

国選定文化財

種別	名称	指定年月日	所在地	所有者等
重要伝統的建造物群	竹富町竹富島伝統的建造物群保存地区	昭和62年4月28日	竹富町字竹富（竹富島）	

記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財

種別	名称	指定年月日	所在地	所有者等
無形民俗	波照間島のムシャーマ	平成5年11月26日		波照間民俗芸能保存会

登録文化財

種別	名称	指定年月日	所在地	所有者等
有形文化財	神山家住宅 主屋	平成17年11月10日	字黒島1522	神山忠蔵
有形文化財	西棧橋	平成17年12月26日	字竹富地先	竹富公民館
有形文化財	伊古棧橋	平成17年12月26日	字黒島地先	黒島公民館
有形文化財	なごみの塔	平成18年3月27日	字竹富359	竹富公民館
有形文化財	大盛家住宅 主屋	平成18年8月3日	字小浜15	大盛 武
有形文化財	大盛家住宅 ヒンプン	平成18年8月3日	字小浜15	大盛 武
有形文化財	大盛家住宅 石垣	平成18年8月3日	字小浜15	大盛 武
有形文化財	大盛家住宅 井戸	平成18年8月3日	字小浜15	大盛 武
有形民俗文化財	竹富島の生活用具	平成19年3月7日	字竹富108	喜宝院
有形文化財	神山家住宅 石垣	平成19年5月15日	字黒島1522	神山忠蔵
有形文化財	神山家住宅 水タンク	平成19年5月15日	字黒島1522	神山忠蔵
有形文化財	神山家住宅 井戸	平成19年5月15日	字黒島1522	神山忠蔵

沖縄県指定文化財

種別	名称	指定年月日	所在地	所有者等
史跡	西塘御嶽	昭和34年12月16日	字竹富	
史跡	蔵元跡	昭和34年12月16日	字竹富	
史跡	下田原貝塚	昭和31年10月19日	字波照間	
史跡	仲間第一貝塚	昭和31年10月19日	字南風見仲	
史跡	仲間第二貝塚	昭和31年10月19日	字南風見仲	
史跡	平西貝塚	昭和31年10月19日	字古見	
天然記念物	船浮のヤエヤマハマゴウ	昭和34年12月16日	字西表 船浮	
天然記念物	アサヒナキマダラセセリ	昭和53年4月1日	地域を定めずに指定	
建造物	新盛家住宅	平成6年3月31日	字西表620	竹富町

竹富町指定文化財

種別	名称	指定年月日	所在地	所有者等
史跡	大竹祖納堂儀佐屋敷跡	昭和47年8月30日	字西表488	大竹八重雄
史跡	番所跡	昭和47年8月30日	字黒島1	竹富町
史跡	イヌムル（按司の城跡）	昭和47年8月30日	字黒島226-1	
史跡	イサンチャヤ（古墓）	昭和47年8月30日	字黒島571	竹越堅一
史跡	長田御嶽	昭和47年8月30日	字波照間2830	前野幸助
史跡	アカハチ誕生の地	昭和47年8月30日	字波照間2965	田福得宏
史跡	ミーナ井戸	昭和47年8月30日	字竹富1880	竹富公民館
史跡	海 垣	昭和47年8月30日	字小浜 地先	
史跡	カンドウラ石（雷石、霊石）	昭和47年8月30日	字小浜318	
史跡	クイヌバナ	昭和47年8月30日	字新城334-8	
史跡	シムスケー	昭和47年8月30日	字波照間4939	貝敷文雄
史跡	下り井戸	昭和47年8月30日	字鳩間532	
史跡	慶末慶田城翁屋敷跡	昭和48年9月12日	字西表381	宮良用庸
史跡	節定め石	昭和51年7月15日	字小浜2595-2	
史跡	新里村遺跡	平成3年9月11日	字竹富	
史跡	ウテイスク山遺跡	平成16年9月17日	字小浜754-8	竹富町
史跡	小浜家のヤマヤスキ	平成17年10月6日	字小浜2838、2930-36	小浜 等
史跡	ピサダ道	平成19年9月28日	字西表（里道）	竹富町
天然記念物	アサビシバナ（遊び岩）	昭和47年8月30日	字黒島444-1	
天然記念物	桑の老木	昭和47年8月30日	字黒島1827	横目喜良
天然記念物	浜シタン群落	昭和47年8月30日	字波照間1047-1	保田盛タエ
天然記念物	鳩間中森	昭和47年8月30日	字鳩間329	
天然記念物	タブの老木	昭和47年8月30日	字西表492	大竹八重雄
天然記念物	カマドマのクバデサー	昭和47年8月30日	字西表 船浮	
天然記念物	コーキ原のガジュマル群落	昭和51年7月15日	字小浜	
天然記念物	白朗原御嶽クロボウモドキ群落	平成30年3月20日	字波照間4313	竹富町
天然記念物	大保良田クロボウモドキ群落	平成30年3月20日	字南風見186-246	竹富町
名勝	大 岳	昭和47年8月30日	字小浜704-1	
名勝	高那の景勝	昭和47年8月30日	字波照間3905-1	
工芸品	稲福筑登之正装	昭和47年8月30日	字小浜	稲福義男
工芸品	南川田於那利の衣装及び茶器	昭和47年8月30日	字小浜	稲福義男
工芸品	仲筋ぬヌベマの水がめ	平成3年9月11日	字竹富720	幸本宏助
有形民俗	大平井戸	平成10年3月31日	字西表580-2	那根 格
無形民俗（舞踊・民謡）	ササラ銭太鼓	昭和48年12月5日		竹富島民俗芸能保存会
無形民俗（舞踊・民謡）	元タラクジ	昭和48年12月5日		竹富島民俗芸能保存会
無形民俗（舞踊・民謡）	ジッチュ節	昭和48年12月5日		竹富島民俗芸能保存会
無形民俗（舞踊・民謡）	祝鼓舞	昭和48年12月5日		竹富島民俗芸能保存会
無形民俗（舞踊・民謡）	鍛冶工主狂言	昭和48年12月5日		竹富島民俗芸能保存会
無形民俗（舞踊・民謡）	しきた盆	昭和48年12月5日		竹富島民俗芸能保存会
無形民俗（舞踊・民謡）	安里屋節	昭和48年12月5日		竹富島民俗芸能保存会
無形民俗（舞踊・民謡）	真栄節	昭和48年12月5日		竹富島民俗芸能保存会
無形民俗（舞踊・民謡）	タニマイ	昭和48年12月5日		竹富島民俗芸能保存会
無形民俗（舞踊・民謡）	仲筋ぬヌベマ節	昭和48年12月5日		竹富島民俗芸能保存会
無形民俗（舞踊・民謡）	ザングル口	昭和48年12月5日		竹富島民俗芸能保存会
無形民俗（舞踊・民謡）	タラクジ	昭和48年12月5日		竹富島民俗芸能保存会
無形民俗（舞踊・民謡）	シドゥリャニ	昭和48年12月5日		竹富島民俗芸能保存会
無形民俗（舞踊・民謡）	天使	昭和48年12月5日		竹富島民俗芸能保存会
無形民俗（舞踊・民謡）	マミドーマ	昭和51年12月15日		竹富島民俗芸能保存会
無形民俗（舞踊・民謡）	ハピラ踊	昭和48年10月5日		小浜民俗芸能保存会
無形民俗（舞踊・民謡）	カシカケ踊	昭和48年10月5日		小浜民俗芸能保存会
無形民俗（舞踊・民謡）	天加那志（布サラシ）	昭和48年10月5日		小浜民俗芸能保存会
無形民俗（舞踊・民謡）	小浜節	昭和48年10月5日		小浜民俗芸能保存会
無形民俗（舞踊・民謡）	芋引き踊	昭和48年10月5日		小浜民俗芸能保存会
無形民俗（舞踊・民謡）	アカマタ節	昭和48年10月5日		小浜民俗芸能保存会
無形民俗（舞踊・民謡）	ダートゥーダー	平成3年9月11日		小浜民俗芸能保存会
無形民俗（舞踊・民謡）	稲まぢん節	平成3年9月11日		小浜民俗芸能保存会

種別	名称	指定年月日	所在地	所有者等
無形民俗 (民謡の部)	黒島口説	昭和50年11月26日		黒島民俗芸能保存会
無形民俗 (民謡の部)	ベンガン取レ	昭和50年11月26日		黒島民俗芸能保存会
無形民俗 (民謡の部)	マインガニスーザー	昭和50年11月26日		黒島民俗芸能保存会
無形民俗 (民謡の部)	真南風乙節	昭和50年11月26日		黒島民俗芸能保存会
無形民俗 (民謡の部)	山崎節	昭和50年11月26日		黒島民俗芸能保存会
無形民俗 (民謡の部)	チンダラ節	昭和50年11月26日		黒島民俗芸能保存会
無形民俗 (民謡の部)	イトハリ節	昭和50年11月26日		黒島民俗芸能保存会
無形民俗 (舞踊・狂言の部)	黒島口説	昭和50年11月26日		黒島民俗芸能保存会
無形民俗 (舞踊・狂言の部)	ベンガン取レ	昭和50年11月26日		黒島民俗芸能保存会
無形民俗 (舞踊・狂言の部)	マインガニスーザー	昭和50年11月26日		黒島民俗芸能保存会
無形民俗 (舞踊・狂言の部)	真南風乙節	昭和50年11月26日		黒島民俗芸能保存会
無形民俗 (舞踊・狂言の部)	山崎ヌアブゼーマ	昭和50年11月26日		黒島民俗芸能保存会
無形民俗 (舞踊・狂言の部)	チンダラ節	昭和50年11月26日		黒島民俗芸能保存会
無形民俗 (舞踊・狂言の部)	獅子の棒	昭和50年11月26日		黒島民俗芸能保存会
無形民俗 (舞踊・狂言の部)	タイラク	昭和50年11月26日		黒島民俗芸能保存会
無形民俗 (舞踊・狂言の部)	棒術	昭和50年11月26日		黒島民俗芸能保存会
無形民俗 (舞踊・狂言の部)	笠踊	昭和50年11月26日		黒島民俗芸能保存会
無形民俗 (舞踊・狂言の部)	鎌踊	昭和50年11月26日		黒島民俗芸能保存会
無形民俗 (舞踊・狂言の部)	ハデク舞踊	昭和50年11月26日		黒島民俗芸能保存会
無形民俗 (民謡・舞踊の部)	波照間島節	昭和50年11月26日		波照間民俗芸能保存会
無形民俗 (民謡・舞踊の部)	夜雨節	昭和50年11月26日		波照間民俗芸能保存会
無形民俗 (民謡・舞踊の部)	祖平花節	昭和50年11月26日		波照間民俗芸能保存会
無形民俗 (民謡・舞踊の部)	波照間口説	平成3年9月26日		波照間民俗芸能保存会
無形民俗 (民謡・舞踊の部)	世果報節	平成3年9月26日		波照間民俗芸能保存会
無形民俗 (舞踊・狂言の部)	太鼓(テーク)	昭和50年11月26日		波照間民俗芸能保存会
無形民俗 (舞踊・狂言の部)	波照間島節	昭和50年11月26日		波照間民俗芸能保存会
無形民俗 (舞踊・狂言の部)	夜雨節	昭和50年11月26日		波照間民俗芸能保存会
無形民俗 (舞踊・狂言の部)	祖平花節	昭和50年11月26日		波照間民俗芸能保存会
無形民俗 (民謡の部)	越の頂節	昭和50年11月26日		新城民俗芸能保存会
無形民俗 (民謡の部)	サーサー節	昭和50年11月26日		新城民俗芸能保存会
無形民俗 (民謡の部)	バナリヤーマーぬ前の海	昭和50年11月26日		新城民俗芸能保存会
無形民俗 (民謡の部)	越城節	昭和50年11月26日		新城民俗芸能保存会
無形民俗 (舞踊・狂言の部)	越の頂節	昭和50年11月26日		新城民俗芸能保存会
無形民俗 (舞踊・狂言の部)	サーサー節	昭和50年11月26日		新城民俗芸能保存会
無形民俗 (舞踊・狂言の部)	バナリヤーマーぬ前の海	昭和50年11月26日		新城民俗芸能保存会
無形民俗 (舞踊・狂言の部)	クイヌウベ狂言	昭和50年11月26日		新城民俗芸能保存会
無形民俗 (舞踊・狂言の部)	節祭の巻踊	昭和51年7月15日		新城民俗芸能保存会
無形民俗 (民謡の部)	古見の浦節	昭和50年11月26日		古見民俗芸能保存会
無形民俗 (舞踊・狂言の部)	田耕	昭和50年11月26日		古見民俗芸能保存会
無形民俗 (舞踊・狂言の部)	亀組	昭和50年11月26日		古見民俗芸能保存会
無形民俗 (舞踊・狂言の部)	古見の浦節	昭和50年11月26日		古見民俗芸能保存会
無形民俗 (民謡の部)	祖納岳節	昭和50年11月26日		西表民俗芸能保存会
無形民俗 (民謡の部)	仲良田節	昭和50年11月26日		西表民俗芸能保存会
無形民俗 (民謡の部)	下原節	昭和50年11月26日		西表民俗芸能保存会
無形民俗 (民謡の部)	真山節	昭和50年11月26日		西表民俗芸能保存会
無形民俗 (舞踊・狂言の部)	ヤフヌ手	昭和50年11月26日		西表民俗芸能保存会
無形民俗 (舞踊・狂言の部)	シチヌアンガマ	昭和50年11月26日		西表民俗芸能保存会
無形民俗 (舞踊・狂言の部)	馬狂言	昭和50年11月26日		西表民俗芸能保存会
無形民俗 (舞踊・狂言の部)	牛狂言	昭和50年11月26日		西表民俗芸能保存会
無形民俗 (舞踊・狂言の部)	ヤフヌ手	昭和51年7月25日		干立民俗芸能保存会
無形民俗 (舞踊・狂言の部)	オホホ	昭和51年7月25日		干立民俗芸能保存会
無形民俗 (民謡の部)	鳩間中森	昭和51年1月25日		鳩間民俗芸能保存会
無形民俗 (民謡の部)	千鳥節	昭和51年1月25日		鳩間民俗芸能保存会
無形民俗 (民謡の部)	殿様節	昭和51年1月25日		船浮民俗芸能保存会
無形民俗 (民謡の部)	石ヌ屏風節	昭和51年1月25日		船浮民俗芸能保存会
無形民俗 (民謡の部)	上原ヌデンサ節	昭和52年7月15日		上原民俗芸能保存会

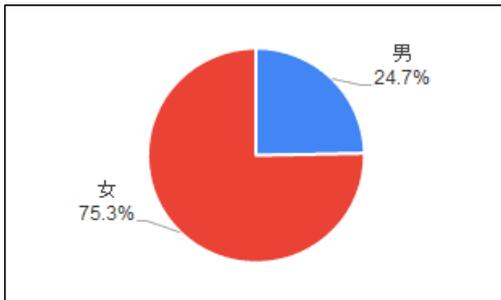
資料編②町民意向調査まとめ

1. 学校関係者および町民の意向調査結果

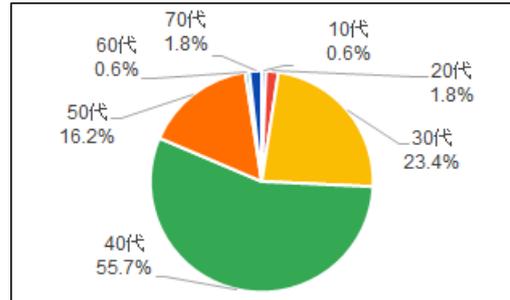
【共通】 回答者属性

保護者

男	女	合計
41	125	166
24.7%	75.3%	100.0%

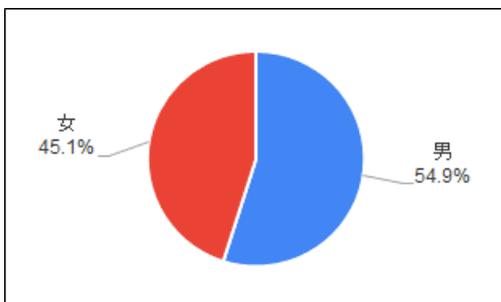


10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
1	3	39	93	27	1	3	167
0.6%	1.8%	23.4%	55.7%	16.2%	0.6%	1.8%	100.0%

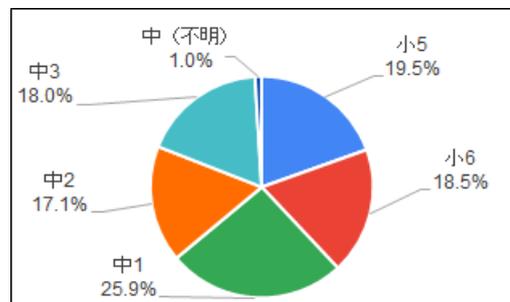


生徒

男	女	合計
112	92	204
54.9%	45.1%	100.0%

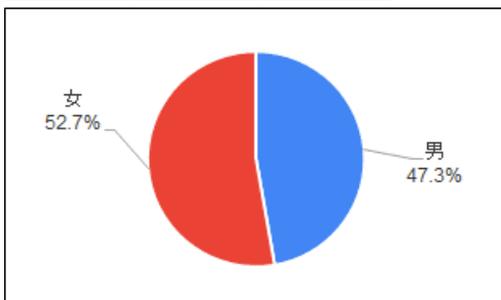


小5	小6	中1	中2	中3	中(不明)	合計
40	38	53	35	37	2	205
19.5%	18.5%	25.9%	17.1%	18.0%	1.0%	100.0%

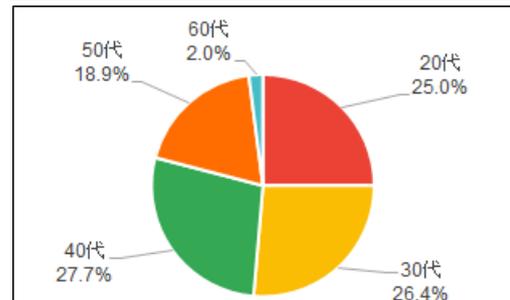


教師

男	女	合計
69	77	146
47.3%	52.7%	100.0%



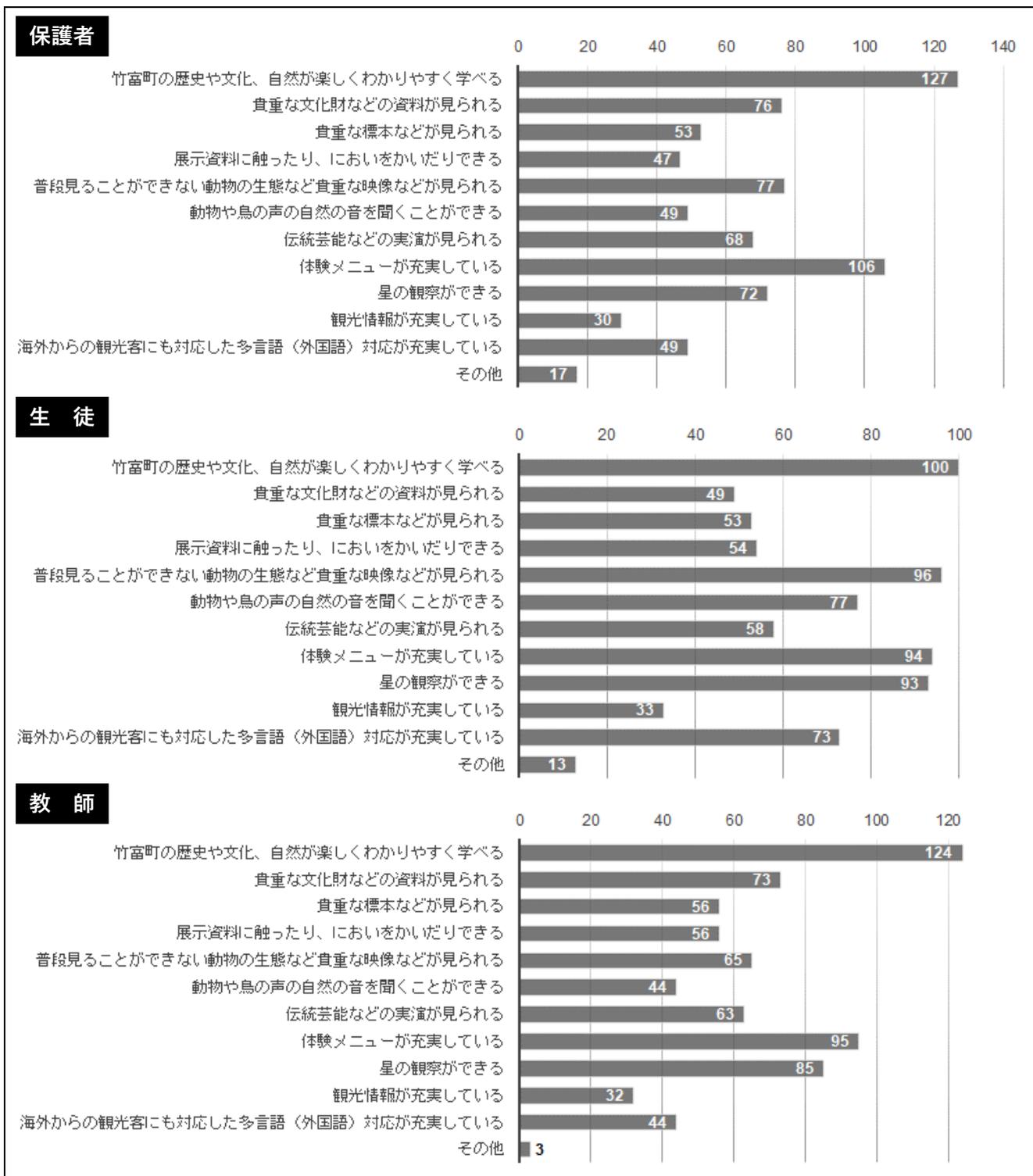
20代	30代	40代	50代	60代	合計
37	39	41	28	3	148
25.0%	26.4%	27.7%	18.9%	2.0%	100.0%



※各合計数が異なるのは記入漏れのため

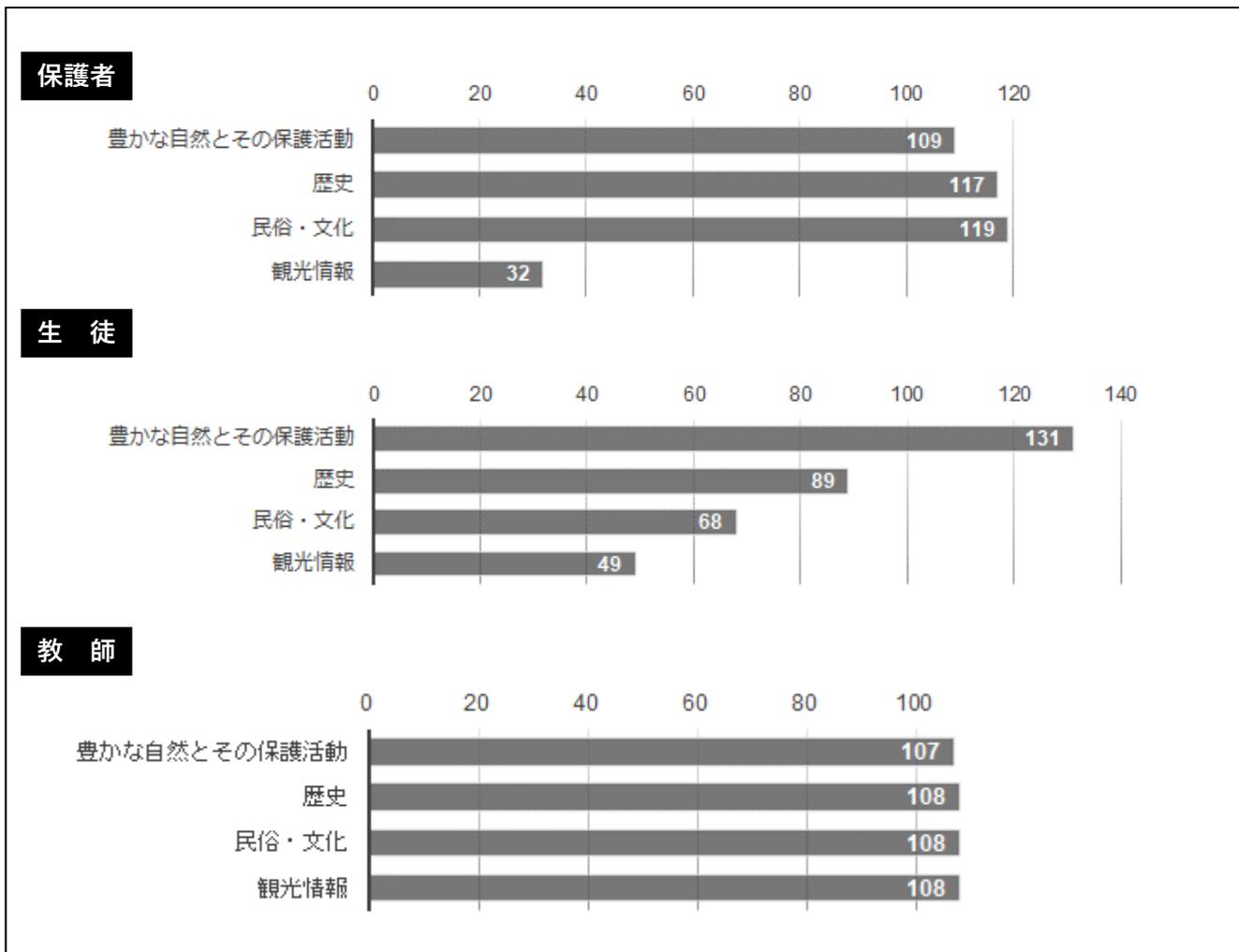
新しく計画する施設についてお答えください

新しくできる施設がどんなところなら行ってみたいと思いますか。(いくつでも)



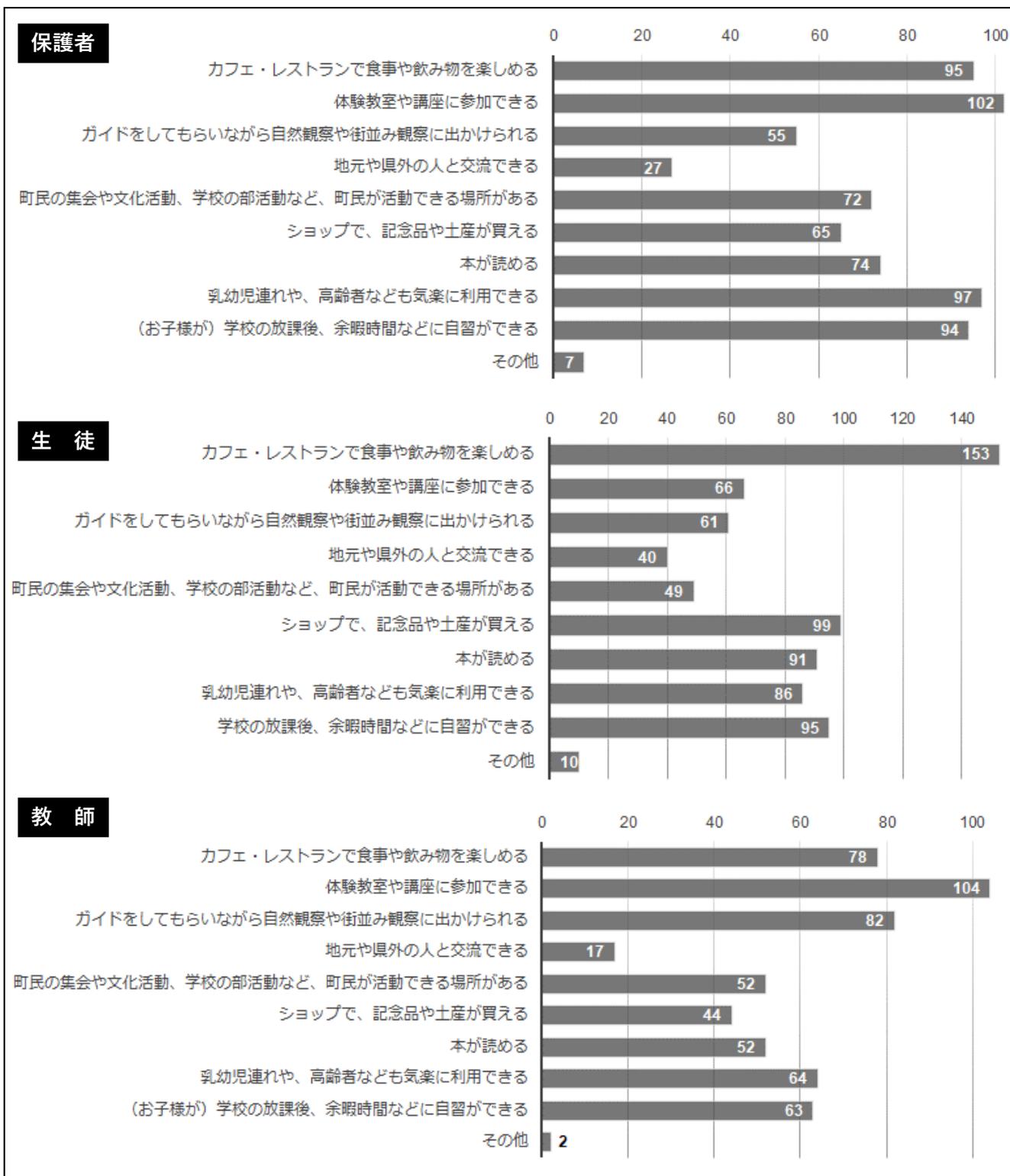
全対象者で、竹富町の歴史や文化、自然が楽しくわかりやすく学べるが一番多かった。保護者、教師では体験メニューが充実しているという意見も多かった。生徒では普段見ることが出来ないものや星の観察ができるという意見も多かった。その他では宿泊施設等の意見もあった。

その施設で竹富町のどんなことを知りたい（伝えたい）ですか？（いくつでも）



教師は自然、歴史、民俗・文化、観光情報、すべてを伝えたいという意見が多く、保護者は観光情報にはそれほど重きを置いていなかった。生徒は自然について知りたいという意見が多かった。

展示を見る以外にどのようなことができるとよいですか？（いくつでも）



保護者、教師は体験教室や講座に参加できるという意見が一番多かった。生徒はカフェ・レストランやショップ等を望む意見が多かった。保護者もカフェ・レストランを望む意見が多く、乳児・高齢者の利用や放課後の生徒の利用を望む声も多かった。その他ではスポーツ・運動ができる施設などの意見も上げられた。

これまで行った文化観光施設などで、よかったと思われた施設はありますか

(町内でもそれ以外でもかまいません)

その施設の名前とよかった点を教えてください。

保護者

施設名	回答者数	良かった点
西表野生生物保護センター	8	生き物の標本や鳴き声など工夫されている
		八重山の西表の動物たちの鳴き声
		西表の動植物についてたくさんのことを色んな形（目・耳・文字など）で学べて、分かりやすく楽しく知る工夫がたくさんあるところです。
		小さい子供が生物に興味をもてる。
		鳴き声、ビデオが流れていたりして、何回行っても子供も喜びます。
		ヤマネコのはくせいがあったりして鳥のなき声もきける
		貴重なイリオモテヤマネコや野生生物の事が知れる。
—		
美ら海水族館 (海洋博物館、プラネタリウム)	4	ゆったりした作りで静か。子供に分かりやすく大人も満足できる展示。複数のビデオブース。
		海に関する世界中の文化が学べる
		色々な沖縄の展示物や歴史、文化の紹介。映像などもあり、だれでも楽しめるのでは。
		みんなが楽しめる。
竹富島ゆがふ館	2	とても開放的でした。また周辺（庭）やアクセスも良かったと思います。
		ゆがふ館は、島民が学ぶことができ体験プログラムが開催されたり、そこに島の人が活躍したり、島の人の展示もあり、いいですね。結果として、観光客も楽しめる。展示の更新がもっとできると、より魅力的な所になります。
石垣市立図書館	2	竹富町民も本がかりられる！
		広いスペースがあり、多方面の活動に利用できる。島内に公園のような場がないので
石垣やいま村	2	サルとあそべたりする所が子供には良い。
		—
黒島研究所	2	島にいる生物の展示。体験依頼等にも応じてくれる。
		島の生き物や文化の展示があり、海ガメにエサをあげたり、触れ合いもできる。
佐賀の吉野ヶ里歴史公園	2	施設がとても広く、昔からの生活が細かく再現されている。体験できる場所も沢山あって、一日中楽しめる場所
		—
回答者数 1		
八重山民俗博物館、黒島ビジターセンター、竹富島の港のすぐそばにある施設（名称不明）、新盛家住宅、Bishop museum ホノルル、竹富ビジターセンター、東京上野「下町風俗資料館」、竹富島「喜宝院」、小浜民俗資料館、みんなー工芸館、平和記念公園の資料館、本島平和記念館、南大東島の資料館、子どもの国の中のワンダーミュージアム、民俗園とか…、対馬野生生物保護センター、歴史博物館（長野県）、吉野ヶ里遺跡、ジブリの森美術館、嵯峨嵐山文華館、日清ラーメン記念館、科学館（京都）、鳥取二十世紀梨記念館なしっこ館、明石宇宙科学館、大阪市立科学館、江戸東京博物館、博物館網走監獄、国立民族博物館、ワシントンD.C. スミソニアン博物館、MOMAニューヨークモダンアート美術館、メトロポリタン美術館、福井恐竜博物館、科博（東京）、松本市四賀化石館（長野県）、公園		

生徒

施設名	回答者数	良かった点
西表野生生物保護センター	32	(主な意見) ・動物の鳴き声を聞けたり、映像が見られる ・いろいろな生き物を紹介している ・わかりやすい ・足跡や剥製がある
ヤマネコセンター (対馬)	5	自然の生き物の映像や標本、鳴き声など色々なことが知れるし、クイズもできて楽しむことができるところだから。
		クイズがあって楽しかった。
		立地と外見が良い
		鳴き声や、けんていなどがあり、楽しくわかる。
		なまごえやえいぞうがながれていて分かりやすかった
平和祈念資料館	5	いろんな資料があって平和について考えられたから
		せんそうのろうじのことが分かる。
		実物をさいげんしたものがあるって分かりやすかった。沢山の資料があった。
		音や人の人形のようなものがおいていて、はくりよくがあったから。ぼうくうごうの中の様な所もあり、目で見るだけでなく体験できた。
		戦争時の資料や映像、再現した模型などがたくさんあった
やいま村	4	リスザルなどの動物とふれあえる
		リスザルにえさをあげられる。
		リスザルにエサをあげれた。
		りすざるとふれあいができるところ
黒島ビクターセンター	3	黒島で昔使っていた物が展示されている。動画を見て黒島の自然について見れる。
		植物の名前とか、芸能の写真はったりしててわかりやすかった。牛の体重と比較できるあの機械がおもしろい
		黒島についてわかる。
		アトラクションのようなものがある (牛と体重比べ)
八重山博物館	3	むかしの道具がおいてあったり、見たり、さわることができてよかった。
		わかれいおいてあったからわかりやくてよかった。
		無料のコーナーがあった。
美ら海水族館	3	海の生き物がみれる
		大きいサメの歯がある (カッコイイ)
		大きな魚が見られたり、実さいにさわりたいものがさわれたこと
九州国立博物館	3	昔のものが実際に見れて、ものの説明などが細かく書いてあってよかった。
		いろんな物がおいてあって勉強になった。
		黒くおちついた部屋にさまざまなものが展示されていたので集中して見れたし楽しかった。
石垣市の図書館	2	色々な種類の本がある
		学校以外のこともわかったから
回答者数 1		
星の観察、水牛車、バナナ公園こん虫館、歴史博物館、はくぶつかん、学校以外の図書館、わいわいホール、しゅりじょう、JAXSA、エコツーリズムセンター、うなり崎公園、太宰府天満宮、姫路城、県立図書館、吉野ヶ里いせき、原爆ドーム (広島)、京都鉄道博物館、大阪城、ミイラてん (東京)、分かんない (1年の時に平和学習で行った石がき)、公園、病院		

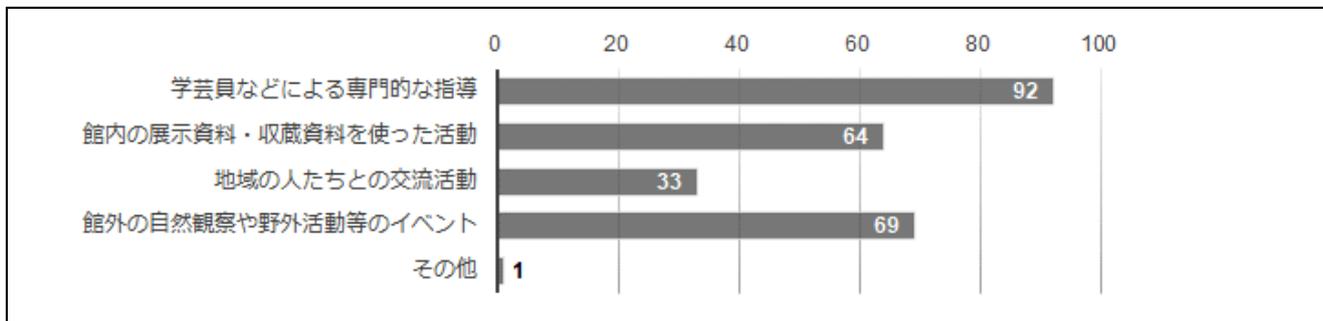
教師

施設名	回答者数	良かった点
西表野生生物保護センター	6	イリオモテヤマネコをはじめ、西表島の自然について学ぶことができる
		特にイリオモテヤマネコの生態が詳しく紹介されていたので、感動しました。
		展示内容がとても充実して、何度行ってもたのしい。
		イリオモテヤマネコについて他の動物と比較しながら知れる展示があったりして深く知ることができた
		イリオモテの地域行事とその時期に見られる生き物について見られるマップ等があり、おもしろかった。
		・動物の音がきける ・西表島にどんな動物がいるのかすぐ分かる。
		実物のはくせいや資料が多い
沖縄県立博物館、美術館	5	常時展示コーナーに、昔から使われている民具の体験コーナーや沖縄の衣食住に関わる展示があり、学習に活用することができました。
		資料展示や学芸員などが充実している
		休める場所がある。実際の文化財に触れられる（古民家等）
		—
		—
黒島研究所	3	内容、展示物等充実しており、印象に残っている
		黒島研究所で様々な海洋生物が見れるから。
		ウミガメだけでなく、黒島の歴史等についての資料もあった。
美ら海水族館	3	世界最大級
		スケールが大きい
		—
石垣市立図書館	2	学習や講座、読書、さまざまな活動ができ、誰でも自由に利用できる・情報が得られる。
		地域の図書館があると多くの人利用できる機会が増える。
北九州市立自然史・歴史博物館 (いのちのたび博物館)	2	楽しみながら学習することができる
		昔の福岡にいた恐竜の様子を本物のようによく見せていた
東京国立博物館	2	体験型の活動が充実している。
		展示物が豊富
(長崎)雲仙岳災害記念館(がまだすドーム)	2	展示も充実していて、体験活動やイベントが多く企画されていた
		雲仙普賢岳の噴火の様子や火砕流の様子がリアルに体験できたこと
回答者数 1		
黒島ビジターセンター、民芸館、ワンダーミュージアム(沖縄こどもの国)、WWFサンゴ礁保護研究センター、しらほサンゴ村、沖縄県立図書館、海洋博公園、DiDi、与那国総合センター、平和記念資料館・ひめゆり資料館、南風原町文化センター、石垣焼、沖縄生涯学習センター、恩納村文化情報センター、東南植物楽園、琉球村(恩納村)、対馬野生生物保護センター・野生復帰のための施設、ユンタンザミュージアム(読谷村)、織名園、秋吉台、金沢21世紀美術館、日光江戸村、大阪城、図書館、博物館		

全対象で西表野生生物保護センターが一番であった。理由としては映像や鳴き声、標本多様な生物の紹介等による展示等があげられる。他には美ら海水族館、沖縄県立博物館・美術館、平和祈念資料館、ヤマネコセンター(対馬野生生物保護センター)等があげられた。

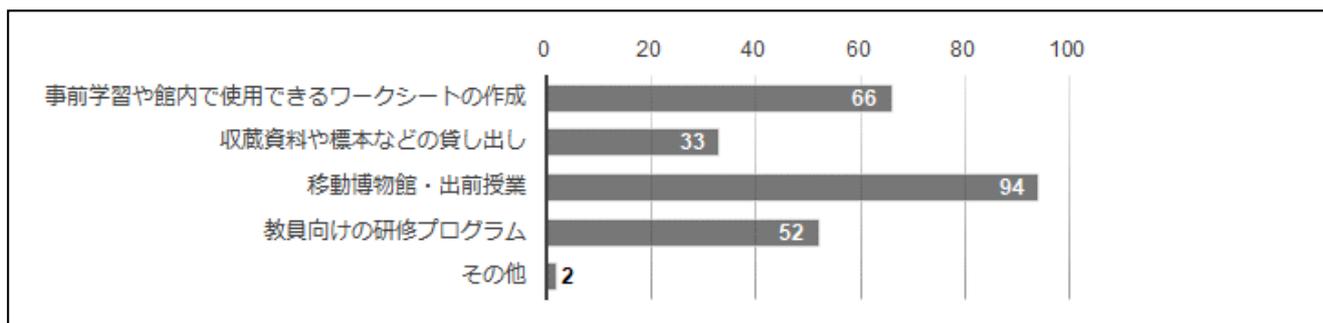
【教師のみ】

体験学習などの活動で利用する場合、望まれることは何ですか？



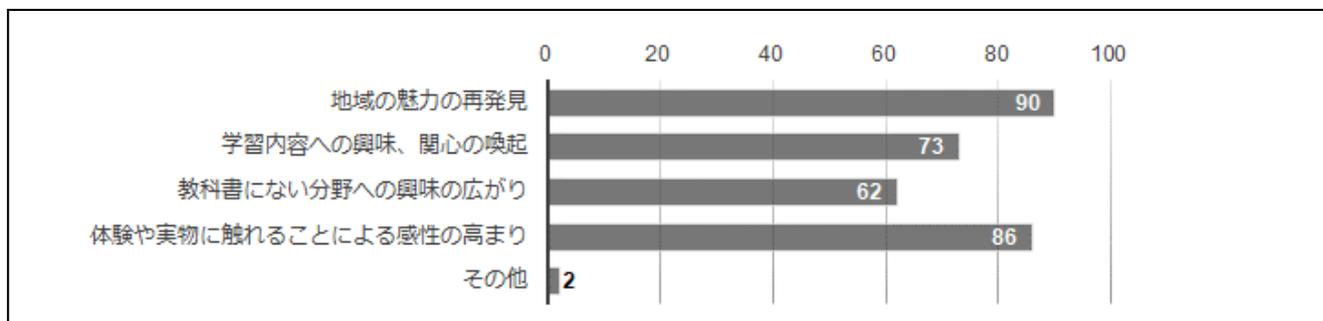
体験学習などでの利用では学芸員などによる専門的な指導を望む意見が一番多かった。

展示や体験活動以外に望まれることは何ですか？



展示以外に望まれることは、移動博物館・出前授業、ワークシートの作成が多かった。

新施設の利用によってどのような効果を期待されますか？



新施設の効果は地域の魅力の再発見、感性の高まりを望むものが多かった。

【自由意見】

主な意見抜粋

保護者

- ・観光としても、子供たちが研究や体験できる何度も通いたくなる施設
- ・現地に出かけられない人に映像でいつでも観ることができるとよい。
- ・雨が降っても楽しめる施設。体験出来てご飯も食べれてお土産も変える施設。
- ・歴史文化をオジイやオバアから聞いて学ぶというのは今後難しくなると思うので施設はあっていいと思うが、自然は身の回りにあふれていてガイドもいるので施設を作るのはどうかと思う。観光客相手なら話は別だが。
- ・外のスペースにも大人も子どもも楽しめる場所があるとよい。
- ・伝統芸能の実演で、祭の為の奉納芸能的なことは人に見せるためにはやってほしくない。
- ・各島に小さくてもよいので郷土の歴史を知れて本は借りられる施設がほしい。
- ・箱物は必要ない。
- ・黒字で運営できるよう対外的なアプローチを模索すべき。
- ・役場職員には限界があるので第三者等とタイアップするとよい。
- ・大切な財源で作られるならば有効に活用できない施設は必要ない。
- ・大事なのはコンセプト（目的）を明確に絞り込んでからつくること。
- ・新施設の整備ということだが、過去に設置された学習施設の有効活用もままならぬ竹富町には荷が重いのではないか。計画が破綻した際の負担はどう処理するのか。

生徒

- ・みんなで遊ぶきっかけがあるところがほしい。
- ・観光客と地元の人を分けてほしい、変な建物にしてほしくない。木造にしてほしい。
- ・子どもから高齢者まで、みんなで楽しく利用できるところにしてほしい。
- ・平和を願う人は沢山いるので、平和と文化を組み合わせたらよい。
- ・プールを作ってほしい。

教師

- ・企画展を頻繁にやってほしい。
- ・宿泊サービス、交流キャンプ
- ・体験型の施設。例えば昔へのタイムトリップしたような感じが出せたらよい。
- ・広い学習スペース
- ・石垣市規模の図書館
- ・普段から使える場
- ・雨天時活用できる施設
- ・見学前後に振り返りや活動ができるスペースがあると体験活動が行いやすい。
- ・入場料無料。送迎バス
- ・フットワークの軽い組織づくり

自由意見としては雨天時に活用できるスペースがほしいという意見がいくつか見られた。また、石垣市規模の図書館を望む意見も見られた。保護者の中には特に運営的な面から箱モノを新設することに疑問を感じる意見も見られた。

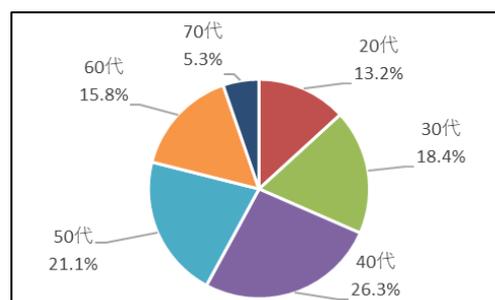
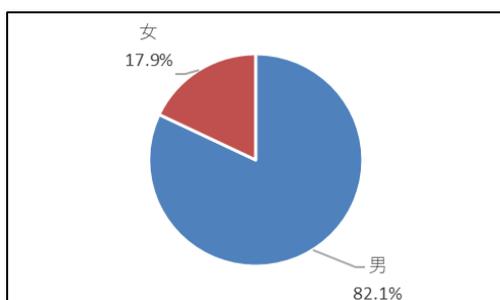
2. 観光客および観光業の意向調査

観光事業者

回答者属性

男	女	合計
32	7	39
82.1%	17.9%	100.0%

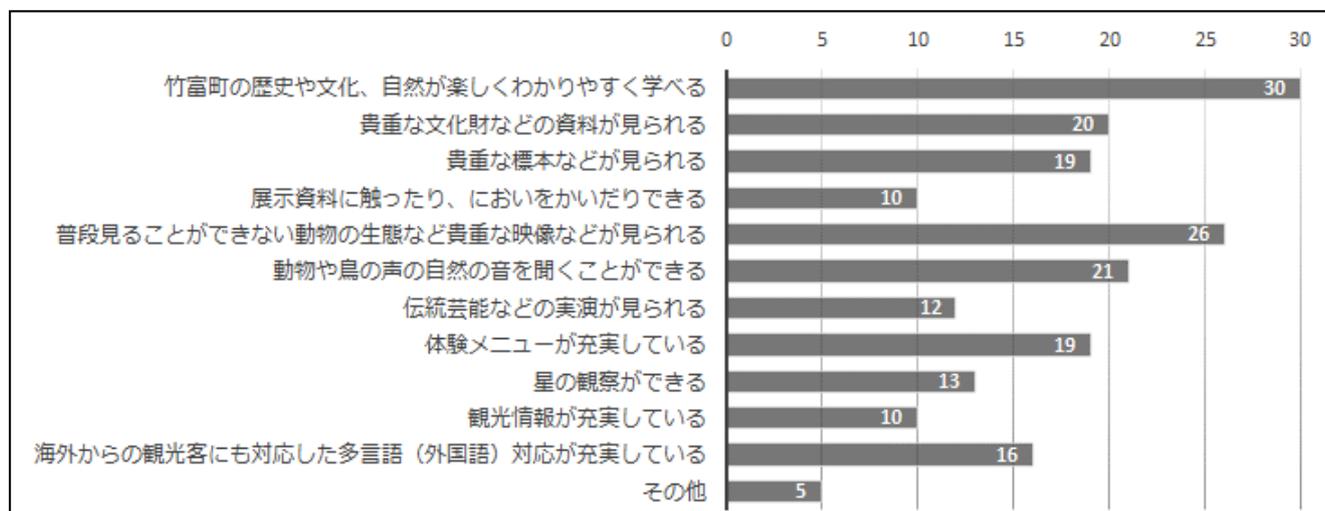
20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
5	7	10	8	6	2	38
13.2%	18.4%	26.3%	21.1%	15.8%	5.3%	100.0%



※各合計数が異なるのは記入漏れのため

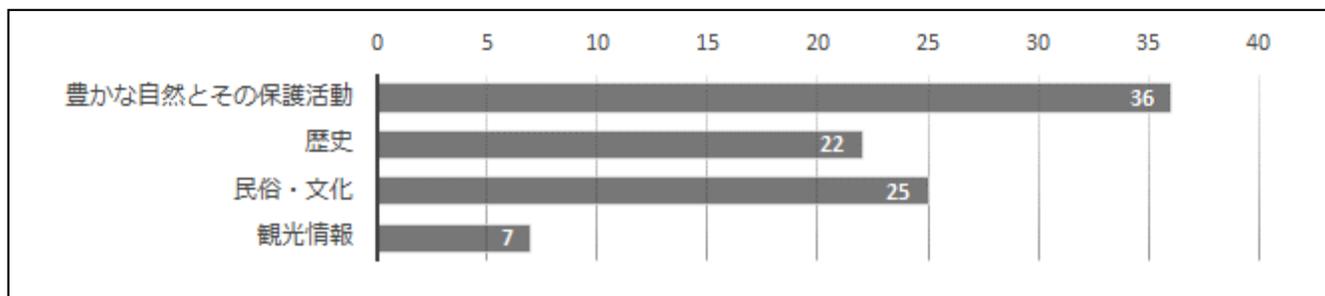
新しく計画する施設についてお答えください

新しくできる施設がどんなところなら行ってみたいと思いますか。(いくつでも)



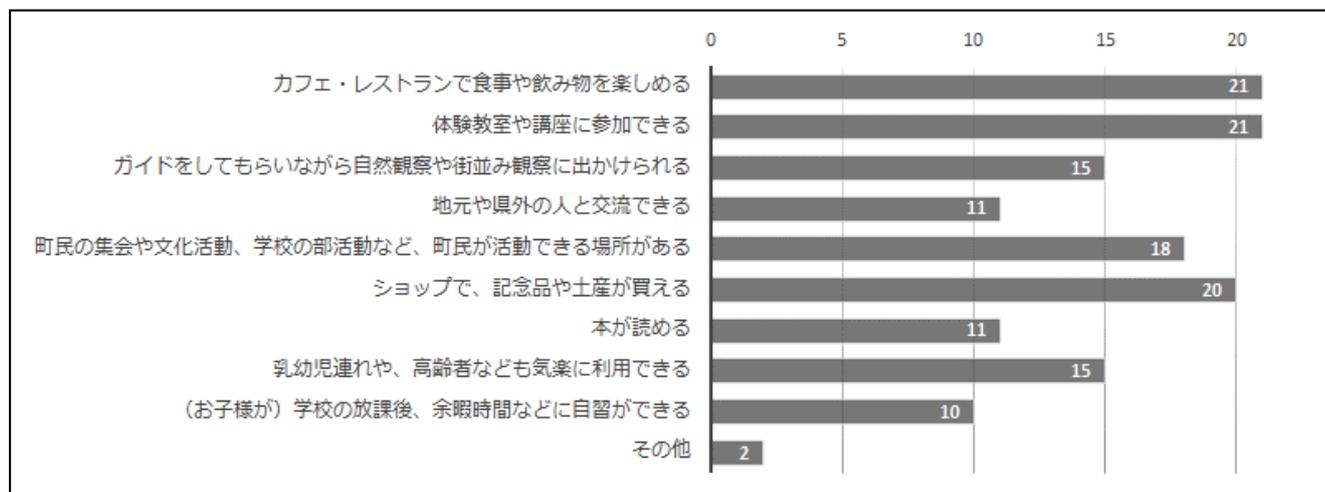
竹富町の歴史や文化、自然が楽しくわかりやすく学べるが一番多かった。次いで、普段見ることができない動物の生態や映像を見られる、動物や鳥の声など自然の音を聞くと自然に関する内容を望む意見が多かった。

その施設で竹富町のどんなことを知りたい（伝えたい）ですか？（いくつでも）



豊かな自然とその保護活動を伝えたいという意見が多かった。

展示を見る以外にどのようなことができるとよいですか？（いくつでも）



カフェ・レストラン、ショップを望む意見が多く、体験教室や講座に参加できるも多かった。

これまで行った文化観光施設などで、よかったと思われた施設はありますか
 (町内でもそれ以外でもかまいません)

その施設の名前とよかった点を教えてください。

施設名	回答者数	良かった点
西表野生生物保護センター	2	西表島の自然や文化などが展示されており、天気の良い時など、案内出来る 清掃が行き届いている。
竹富島ゆがふ館	2	映像を見れる広い部屋があった。小物がオシャレだった。開放的な空間だった。沖縄っぽい雰囲気がよかった。 地域に根ざした施設に徹底している
沖縄県立博物館	2	①綺麗、観光客向けでもありつつ高度な知識も得る事ができる 貴重な資料がある 休憩もできて楽しめる 十分な駐車場がある —
回答者数 1		
西表島エコツーリズム協会、国頭村学びの森、ヨナグニ島 アヤメバビル館、千葉県立博物館、漫湖水鳥湿地センター、神奈川県立生命の星・地球博物館、霧多布湿原センター（北海道）、ポーラーミュージアム（ノルウェー）		

西表野生生物保護センター、竹富島ゆがふ館等があげられた。

【自由意見】

主な意見抜粋

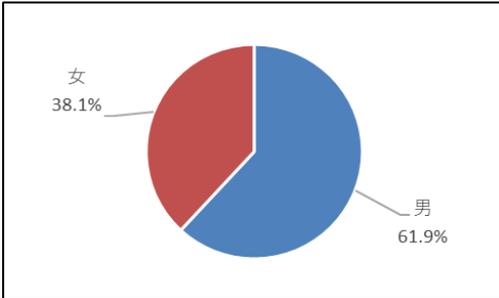
- ・来場者はもちろんだが、島民が知らない生き物や生態も多いので。それらを展示もしくは紹介できる利用しやすい施設にしてほしい。
- ・西表炭鉱について、あまり一般に知られていないので、写真や詳しい資料等をわかりやすく展示してほしい。
- ・誰でも安心して利用でき、災害時避難宿泊できる、学習拠点、希少動植物の保護増殖、自然環境保護保全活動の拠点となるような施設が浦内集落山側の保有地に。
- ・箱物行政はがっかり。
- ・今ある施設をもう少し利用しやすい時間帯にするとか、工夫したらよいのではないか。
- ・港にビジターセンター的なちょっとした案内カウンターがあればよいと思う。
- ・既存の施設との役割分担・差別化が必要。
- ・子どもも楽しめるようなものがよい。
- ・バリアフリーを考慮した施設にすることを希望。

島民も知らないこともあるので、それらを展示紹介できる施設や災害時に宿泊できる施設、既存施設との役割分担・差別化を求める等の意見があげられた。

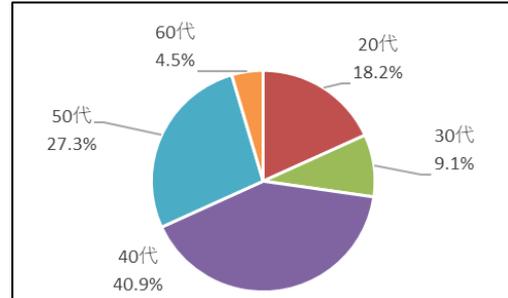
観光客

回答者属性

男	女	合計
13	8	21
61.9%	38.1%	100.0%



20代	30代	40代	50代	60代	合計
4	2	9	6	1	22
18.2%	9.1%	40.9%	27.3%	4.5%	100.0%

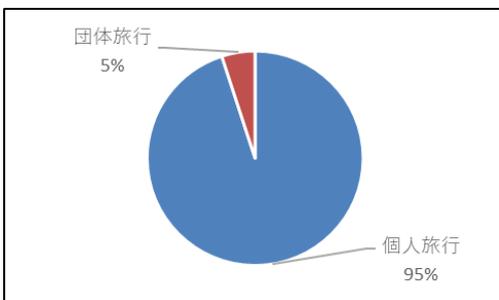


※各合計数が異なるのは記入漏れのため

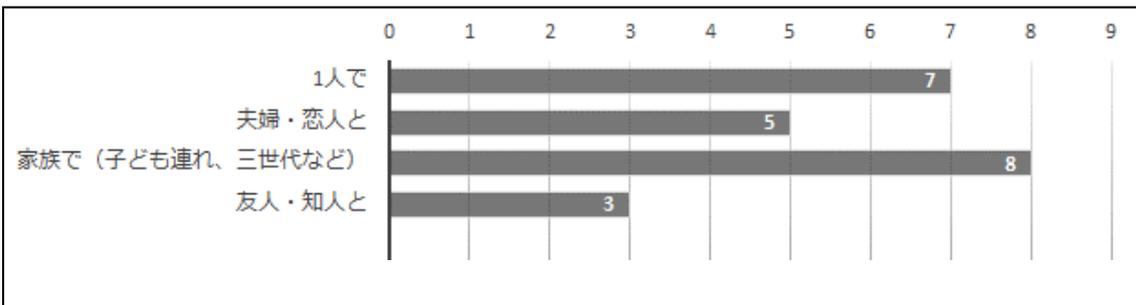
今回の旅行についてお答えください

旅の形態は？

個人旅行	団体旅行	合計
19	1	20
95.0%	5.0%	100.0%



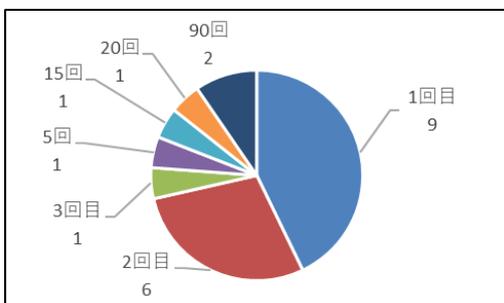
どなたといらっしゃいましたか？



コロナ禍ということもあり、個人旅行がほとんどであった。家族と来ている人が一番多かったが、1人での観光も結構多かった。

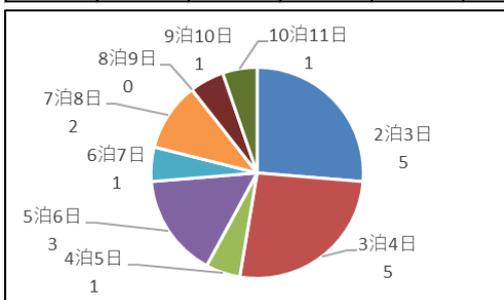
竹富町へは何度目のご旅行ですか？

1回目	2回目	3回目	5回	15回	20回	90回	合計
9	6	1	1	1	1	2	21
42.9%	28.6%	4.8%	4.8%	4.8%	4.8%	9.5%	71.4%



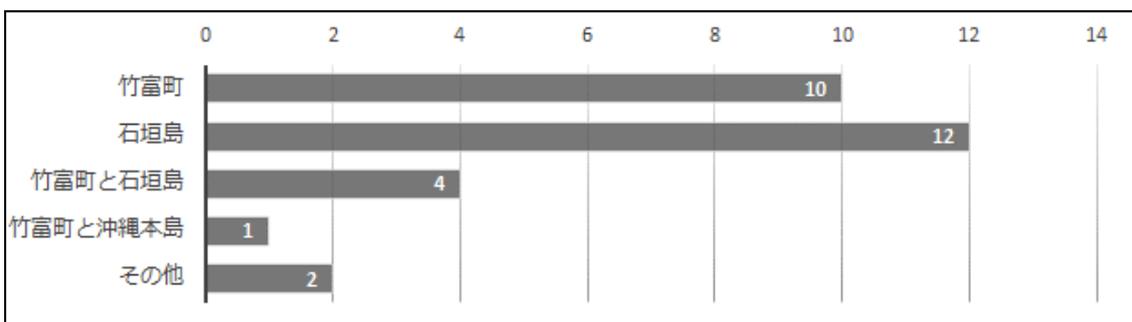
何日間の旅行ですか？

2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊6日	6泊7日	7泊8日	8泊9日	9泊10日	10泊11日	合計
5	5	1	3	1	2	0	1	1	19
26.3%	26.3%	5.3%	15.8%	5.3%	10.5%	0.0%	5.3%	5.3%	100.0%



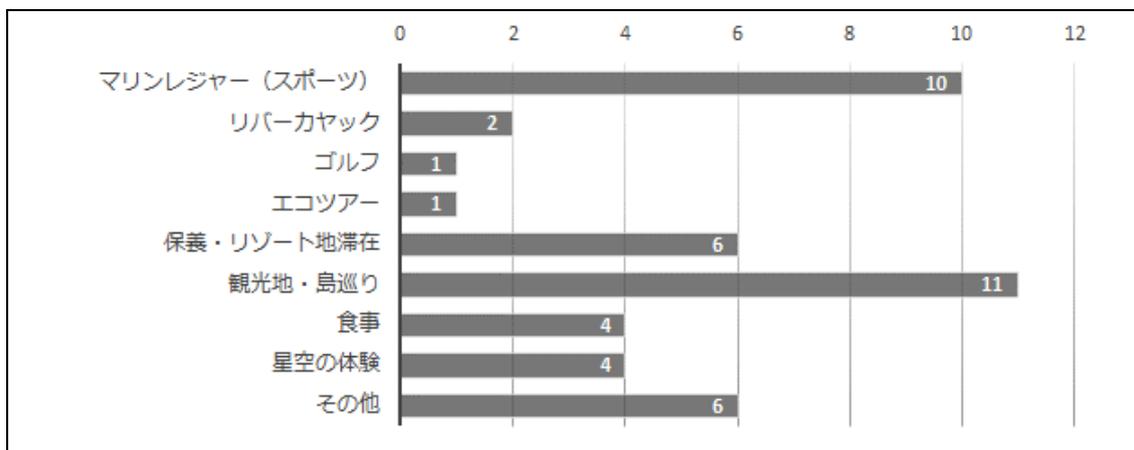
竹富町へは初めて訪れた人が一番多く、次いで2度目が多かった。旅行日数については2泊3日、3泊4日が多かった。

滞在する場所はどこですか？



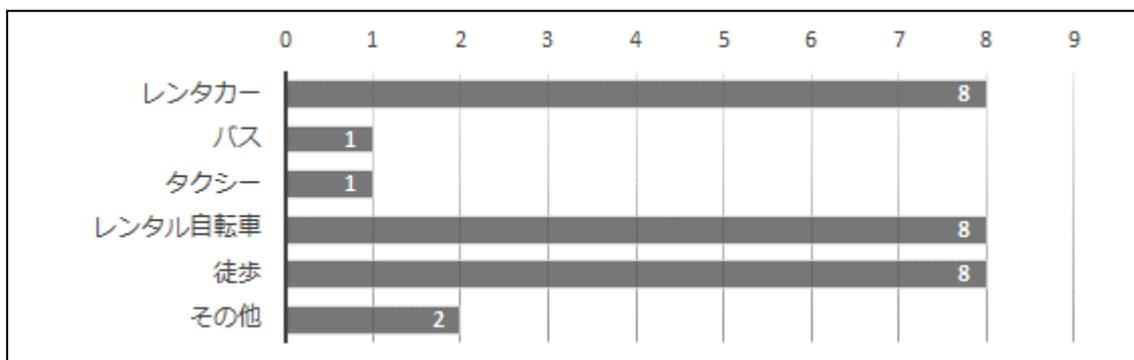
滞在する場所としては石垣島が一番多かった。竹富町の内訳としては竹富島4、西表島4、黒島2であった。

今回の旅行の目的は何ですか？いくつでもけっこうです。



旅行の目的は観光地・島巡り、マリンレジャーが多かった。

島内の移動手段は何ですか？



移動はレンタカー、レンタル自転車、徒歩が多く、バスやタクシーはあまり使われていなかった。

今回訪れた（訪れる予定の）文化観光施設はありますか？

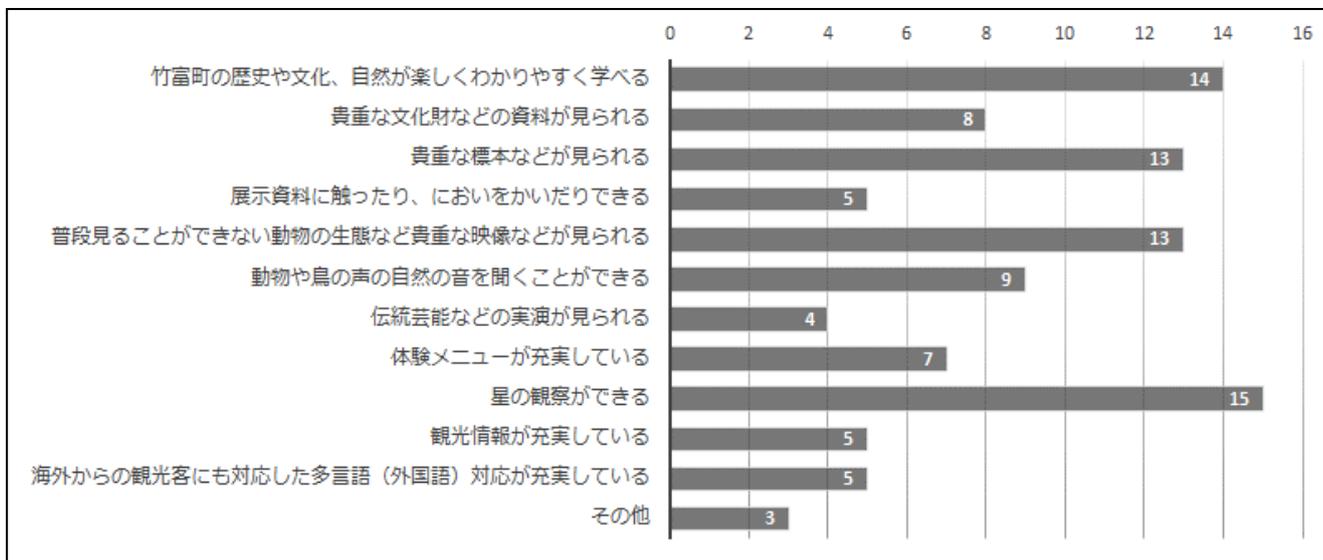
既に訪れた場合は、施設のよかった点、よくなかった点を教えてください。

施設名	よかった点	よくなかった点
西表野生生物保護センター	生きた生物も展示されていたり、子供にもわかりやすいビデオがあったのはよかった	子猫のはくせいとかもみたかった
	いろんな標本があり、実際の姿を見られるのは非常によかった。	もう少しジャングルの中に生息している生きている生物があるとより良いと思います。
	イリオモテヤマネコの生態や発見例が細かくデータ化していて、リアルに感じました。	
	無料なのに展示が充実していた。	
	イリオモテヤマネコの剥製が見れた甲殻類の展示もあると嬉しい。	
竹富島ゆがふ館	色々学べた所	
	島がよくわかる展示物	変化がない
	島の空気をとても良く感じることができる素敵な施設。すばらしい！	
	—	—
黒島ビジターセンター	牛の体重計（改良の余地あり）	
	いろいろな展示が見れたのが良かったです。	
	貝の標本もさんこうになりました。涼しめて、熱中症防止になりました。	
黒島研究所	研究所の人がヤシガニなど質問すると丁寧に教えていただいた。いろいろな専門の人がいることで、様々な質問にこたえてくれること。子どもたちはエサヤリが好き。これからも、子どもたちが生き物など興味をもてるようなイベントや展示をいろいろとやってほしい。	
		何を研究しているのかわからない

どの施設も良かった点をあげる人が多かった。生きた生物や標本等も評価がよい。

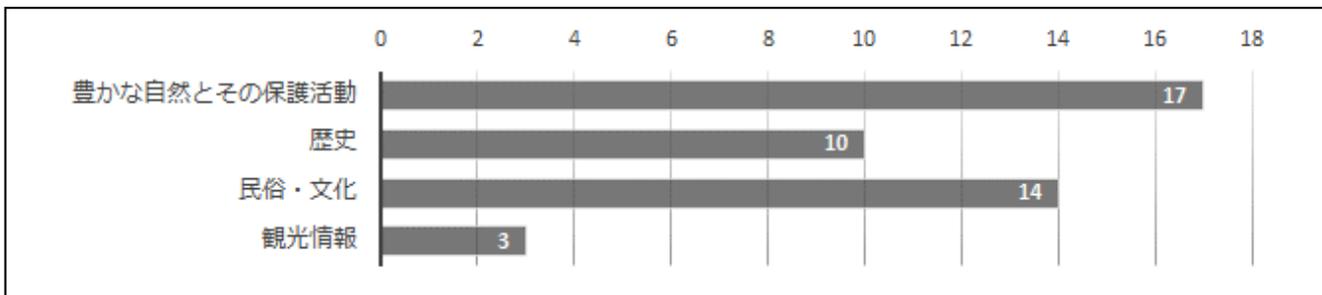
新しく計画する施設についてお答えください

新しくできる施設がどんなところなら行ってみたいと思いますか。(いくつでも)



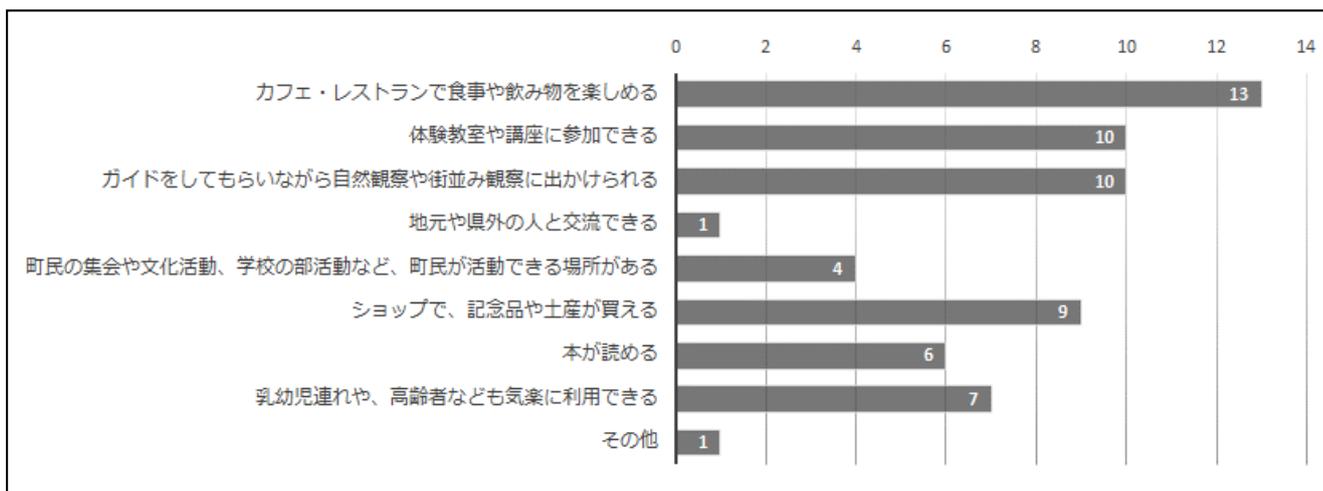
星の観察ができるが一番多かった。次いで歴史や文化、自然が楽しくわかりやすく学べる、貴重な標本、普段見ることができない動物の生態を見られるが多かった。

その施設で竹富町のどんなことを知りたいですか？(いくつでも)



豊かな自然とその保護活動が多く、民俗や文化に関心ある人も結構多かった。

展示を見る以外にどのようなことができるとよいですか？（いくつでも）



カフェ・レストランで食事や飲み物を楽しめるが一番多く、次いで体験教室・講座、ガイドをしてもらいながらの自然観察や街並み観察が多かった。

これまで行った文化観光施設などで、よかったと思われた施設はありますか
（町内でもそれ以外でもかまいません）
その施設の名前とよかった点を教えてください。

施設名	回答者数	良かった点
西表野生生物保護センター	2	無料なのに展示が充実していた。
		剥製、鳴き声、野鳥の鳴き声などで天候を読むなどの知恵
黒島研究所	2	海ガメのさまざまな成長が見れた所
		亀の成長が見られる
回答者数 1		
かつての八重山研究所、天文台（石垣）、首里城、道の駅、広島平和資料館、北九州市立いのちの旅博物館、つばや博物館、北炭震災記念公園		

西表野生生物保護センター、黒島研究所等があげられた。

【自由意見】

主な意見抜粋

- ・自然と一体化した、自然を活かした施設ができるとよい。
- ・海外の美術館の様に子どもたちがその辺で座ったり、寝転んだりしながら、学べる施設がよい。子どもの好奇心をそそるような場所を作ってほしい。
- ・その土地ならではのもの、そこに行かなければ見られない、食べられないものなどに出会えるとよい。
- ・住んでいるとことに戻ってもつながれるしくみがほしい。
- ・観光客にも自然保護を協力させてほしい。

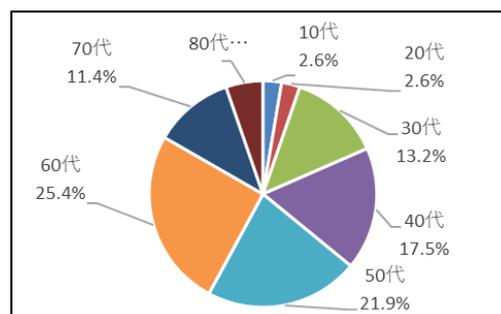
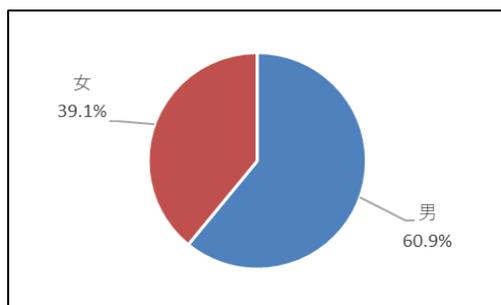
自由意見としては自然と一体化した施設、子どもの好奇心をそそる場所、その土地ならではのもの、帰ってもつながれる仕組みがほしい等の意見があげられた。

3. 地域関連団体の意向調査結果

回答者属性

男	女	合計
67	43	110
60.9%	39.1%	100.0%

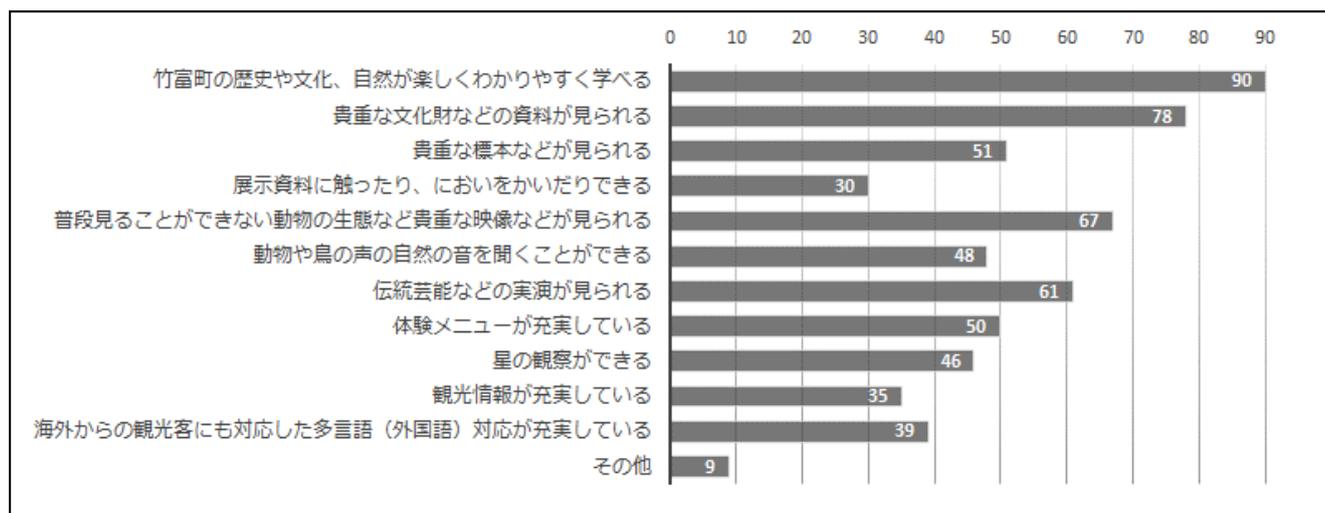
10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	合計
3	3	15	20	25	29	13	6	114
2.6%	2.6%	13.2%	17.5%	21.9%	25.4%	11.4%	5.3%	100.0%



※各合計数が異なるのは記入漏れのため

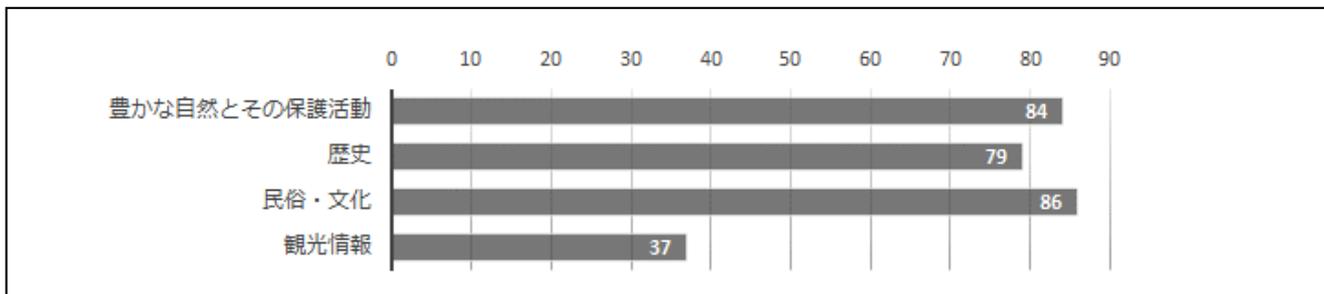
新しく計画する施設についてお答えください

新しくできる施設がどんなところなら行ってみたいと思いますか。(いくつでも)



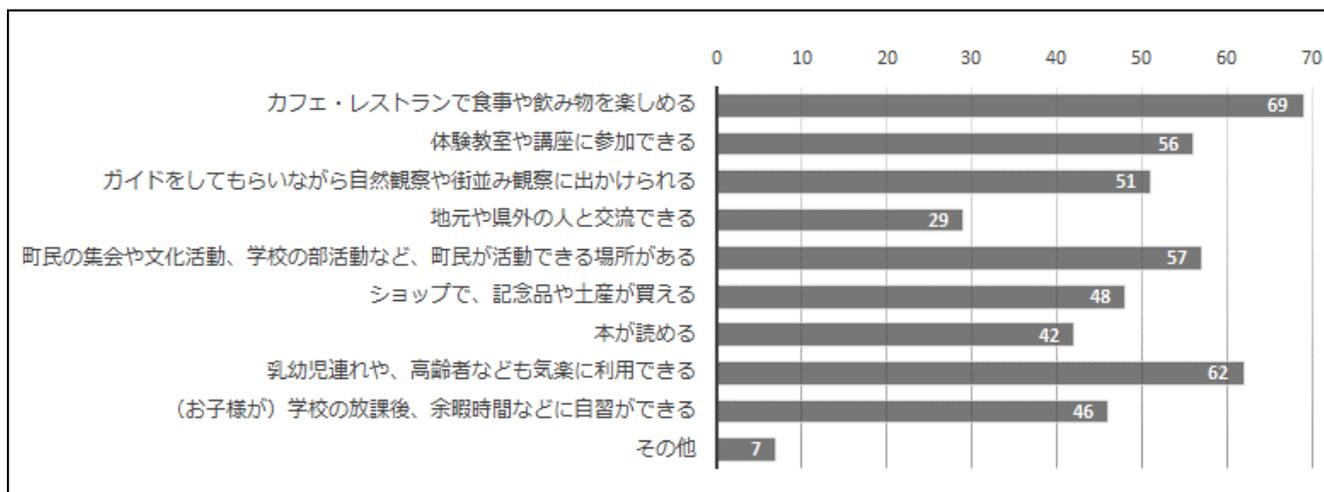
竹富町の歴史や文化、自然が楽しくわかりやすく学べるが一番多かった。次いで貴重な文化財、普段見ることができない動物の生態、伝統芸能等を見られるがあげられた。その他では水族館や図書、映像コーナー等を望む意見があった。

その施設で竹富町のどんなことを知りたい（伝えたい）ですか？（いくつでも）



民俗・文化が一番多く、次いで、自然、歴史であった。観光情報はそれらと比較すると少なかった。

展示を見る以外にどのようなことができるとよいですか？（いくつでも）



カフェ・レストランで食事や飲み物を楽しむが一番多く、次いで乳幼児連れや高齢者なども気楽に利用できる、また活動できる場所を求める意見も多かった。

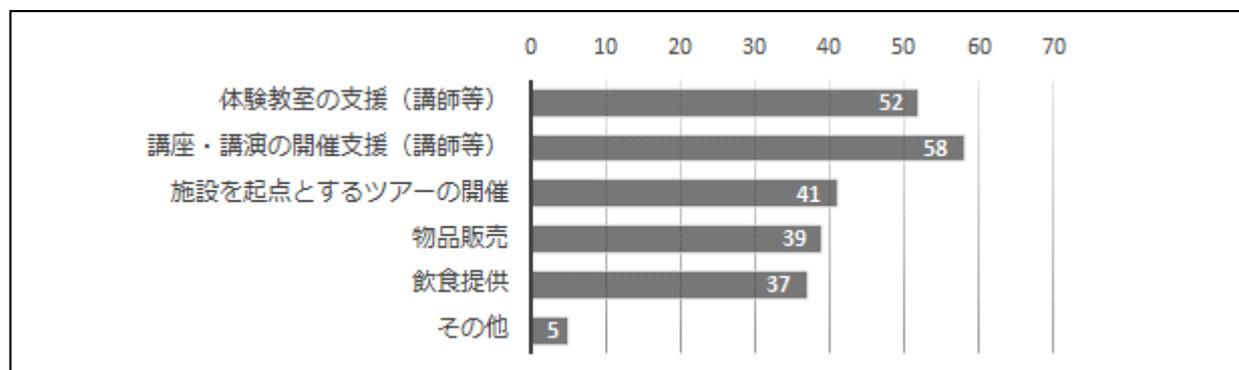
これまで行った文化観光施設などで、よかったと思われた施設はありますか
 (町内でもそれ以外でもかまいません)

その施設の名前とよかった点を教えてください。

施設名	回答者数	良かった点
西表野生生物保護センター	3	西表の動物、植物が全て見られる
		西表島の動植物や歴史が標本化されていて非常に分かりやすいところ。
		コンパクトではあるが、西表の自然がよくわかる。
竹富町ゆがふ館	2	展示物が秀逸。丁寧にかつ分かり易い展示内容である。
		—
黒島研究所	2	生き物に餌付けできたり、色々な展示が見れて良かった。
		feedingできるところ
美ら海水族館 (海洋博物館、プラネタリウム)	2	—
沖縄県立博物館	2	「企画展示コーナー」学生の自由研究など博物館以外の人達も展示ができる場所がある。
		展示物が充実している。
直島	2	自然とアートの融合
		自然とアートを楽しめました。
国立民族学博物館	2	五感で楽しめる展示物がたくさんあり、見せ方が上手。
		展示が楽しかった(日用品などもあり)
回答者数 1		
斎場御嶽、ヤマネコセンター、国立科学博物館、金沢21世紀美術館、石垣の博物館、平和資料館、斜里町知床自然センター、知床財団、奄美大島の資料館、迎賓館赤坂離宮、養老天命反転地、青森の津軽藩ねぶた村、ビクトリア国立美術館、竹富町に有る施設、竹富島資料館?、屋久島、奄美大島の施設、アイヌ博物館		

西表野生生物保護センター、ゆがふ館、黒島研究所等、町内の施設が多くあげられた。

新しい施設ができたらどのような連携が可能と思われますか?



体験教室の支援や講座・講演の支援等での講師としての連携が多くあげられた。その他では企画・運営に携わりたい、ガイド・指導員の養成等の意見があった。

【自由意見】

主な意見抜粋

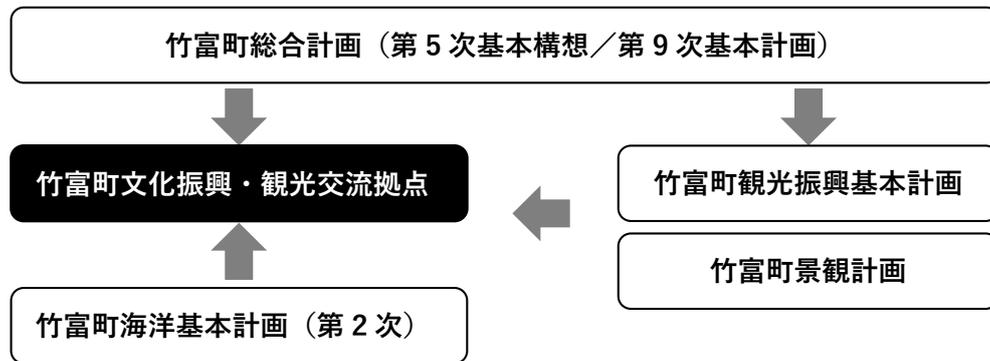
- ・「暮らしの香り」のある施設をつくってもらいたい。島民が自ら作るものを施設に置くだけで、「箱モノ」ではなく、「活きモノ」へと変わる。
- ・自然を売りにしている職が多いので、子どもだけでなく大人にも良い点、悪い点、今後どうすればよいかを知ってもらえる深いものがよい。
- ・博物館の機能である収集・保存・研究もしっかり担える施設に。伝統行事や芸能などのアーカイブ化も。
- ・平和学習ができる場を。
- ・子どもたちの海洋教育の拠点となる機能を十分に取り入れてほしい。
- ・八重山の踊り、民具づくり体験をしたい。
- ・ガチガチな文化施設はつまらないので何度行っても楽しめる、遊び心のある施設を作ってほしい。
- ・地域の店やホテルを関連付けアートを楽しみながら自然を満喫するとともに散策しながら地域の施設を利用してもらえるようにする。
- ・竹富町に関わる図書が見れる図書館。子どもたちが自習できるスペース
- ・歴史や文化の展示なら島単位でなく地域別がよい。
- ・すべての島にできるとよい。
- ・天候に左右されない施設が必要。民間事業所を取り入れ施設の有効的な利用を。
- ・地域おこしになり、交流の場となり楽しく過ごせることができるとよい。島々の隅々まで施設ができることを期待。
- ・きちんとしたWEBサイトを作り、情報発信を怠らない。
- ・竹富町に住んで、文化・自然の豊かさ、奥深さ、ユニークさを知るにつれ多くの人にそれを知ってもらおう施設を作りたいと思うようになった。今の活動の中ではなかなか難しく、町でやるなら、何らかの形で参画したい。
- ・既存施設が無い島々を優先して、年次計画を立てて整備し、既存施設は今以上の施設を再整備してもらいたい。
- ・必要を感じない。
- ・独立運営ができる施設であってほしい

天候に左右されない施設やすべての島への設置、歴史や文化の展示は島単位ではなく地域別に、博物館機能の充実や情報発信の必要性、また何らかの形で参画したい等の意見があげられた。

資料編③竹富町における諸計画

「竹富町文化振興・観光交流拠点（以降、本施設）」の整備に関する検討は、竹富町が策定する上位計画や関連計画を踏まえて行う必要がある。

そこで諸計画を整理し、これらと整合性を図りながら、本構想の検討を行うものとする。



1. 竹富町総合計画（第5次基本構想／第9次基本計画）

- ・第5次基本構想・第9次基本計画はともに令和2（2020）年3月策定されたものである。
- ・第5次基本構想は令和11年度（2029年度）を目標年度とした竹富町の10年間の長期ビジョンであり、竹富町が目指す将来像と町づくりの姿勢とその実現に必要な施策の方向性を示したものである。
- ・第9次基本計画は令和6年度（2024年度）を目標年度とした5年間の中期ビジョンとして、基本構想で示した施策の方向性をより具体的な数値目標と活動内容を定めたものである。
- ・上記基本構想・基本計画のうち「4. 島々の自然と文化を継承する（自然・文化と教育の町）」の「（2）必要な施設とともに先進的なルール・制度の制定と実行を推進する町」のなかにある「①総合博物館及びビジターセンターや自然遺産センターの新設」が本構想である。
- ・本施設はこれの「総合博物館」の実現を目指す場として構想される。

■ 竹富町総合計画（第5次基本構想／第9次基本計画）

●基本理念

- 島々の自然が生きる町づくり
- 島々の文化が息吹（いぶく）町づく
- 島々の発展とともに未来にはばたく町づくり

●町の将来像（目指す姿）

- 島々の誇りと個性がきらめき、大自然と文化と暮らしが響きあう町
～ 海ぬ美（かいしゃ）とともに生きる安全・安心のばいぬ島 ～

●町づくりの目標

1. 島人と来訪者の安全を確保する（安全な町）
2. 島人の暮らしと来訪者の滞在を支える（安心な町）
3. 島々の持続的な発展を推進する（バランスのとれた町）
4. 島々の自然と文化を継承する（自然・文化と教育の町）

●基本計画と総合戦略の施策内容 ※関連のある箇所を抜粋

4節：島々の自然と文化を継承する（自然・文化と教育の町）

1.現状と課題 ※関連のある箇所を抜粋

- 本町の文化財は、国指定文化財が17件、国選定・選択が2件、登録文化財が12件、県指定が9件、町指定文化財が112件もあります。まさに伝統・文化の町にふさわしい指定等の状況です。また、町民参加の町史づくりとして、定期的に「竹富町史だより」を発刊しており、令和元年度時点で45号を数えています。刊行物も22件あり、竹富島、小浜島、新城島、鳩間島、波照間島を単独対象にした町史も発刊しています。
- 景観に関する施策としては、「竹富島重要伝統的建造物群」の伝統的建造物の保全修理を進めるとともに、「準景観地区」の指定に向けての準備も進めています。
- このように、本町は、島々の自然と伝統・文化を継承するため、子どもたちへの教育や各種文化財の指定等をはじめ、町史等の刊行、伝統的な建造物の保全を積極的に推進してきました。今後は、総合的に本町全域の自然と伝統・文化を把握でき、かつ交流できる施設を新設する等の取組みが必要です。
- 観光客の方々にも本町の自然と伝統・文化を正確に知って頂くことは重要です。その上で、島々で守るべき利用ルールやマナーの理解も深まり、保全・継承のためのさまざまな協力も得られやすくなると考えます。
- 以上の取組みに加え、本町の島々の自然環境及び景観を大きく脅かしているのが海岸漂着ごみです。この問題の対策のためには、本町及び町民のたゆみない努力が必須ですが、総合的な施策と施設で効果的に観光客の方々にも周知することで、様々な協力が得られると考えます。

2.施策の目指す方向

本町の貴重な自然と伝統・文化を未来にわたり継承していくため、継承の担い手となる子どもたちへの教育をより一層進めます。そのために、町内各校・各地域の交流につながるイベントの開催、超高速通信網を活用した交流及び総合博物館やビジターセンター・自然遺産センターの新設を推進します。また、このような取組や施設を通じて、観光客の方々に理解を深めて頂き、ご協力を頂ける環境を整えます。

3.施策内容・主な事業

(1) 竹富町子ども・子育て支援事業計画の策定と更新

①総合博物館及びビジターセンター等の新設

次の施策を主体とする「竹富町子ども・子育て支援事業計画」を策定するとともに、状況にあわせて適切に更新しながら、本町の貴重な自然と伝統・文化の継承を担う次世代の育成を推進します。

- ・子育てしやすい環境づくり
- ・幼児教育の充実
- ・義務教育の充実
- ・地域特性を活かした園・学校づくり（学校・家庭・地域が一体となった地域コミュニティ拠点としての学校づくり等）

②自然及び文化財の保護と活用、伝承のための体制強化

後述する竹富町総合博物館（仮称）やビジターセンターの新設を推進し、専門学芸員を配置するとともに、町民有識者・後継者との連携を推進します。また、観光客の方々と島々の自然と伝統・文化の価値共有を図ります。

(2) 必要な施設とともに先進的なルール・制度の制定と実行を推進する町

①総合博物館及びビジターセンター等の新設

町内の人材育成はもちろんのこと、観光客の方々にも本町各島の自然と伝統・文化の理解を深めて頂くための総合博物館及びビジターセンター等の新設を検討します。

②観光客の入域料等による自然環境保全活動に係る資金の確保と適正な活用（再掲）

上記、総合博物館及びビジターセンターでの周知を含め、本町各島・地域の貴重な自然環境と伝統・文化の保全のため、入域料等の制度展開を図り、その活動を推進します。

③観光利用ルール・マナーアップ・価値共有の制度制定と周知（再掲）

本町各島・地域の貴重な自然環境と伝統・文化の保全のための条例等を定め、事業者の適正化を図るとともに、観光客の方々との価値共有を図りマナーアップを推進します。

④海岸漂着ごみ対策

本町の貴重な生態系及び景観をそこねる海岸漂着ごみ対策に関して、本町で実施可能な制度を制定し積極的に対策を講じます。

2. 竹富町海洋基本計画（第2次）

- ・竹富町海洋基本計画は、日本最南端の島しょ型海洋自治体である竹富町が、自然と文化の継承とともに、海洋環境の保全、離島苦の克服、安全・安心な地域社会の形成を実現していくための活動計画として、全国に先駆け策定された計画である。
- ・第2次竹富町海洋基本計画は、平成30（2018）年度から令和4（2022）年度までの5年間を計画期間として、我が国の領海等の根拠となる国境離島を有する竹富町の役割を踏まえながら、海洋に育まれた貴重な大自然と文化の次代への継承、より良い生活環境の実現、国境離島地域の保全等を主な目的とするために策定されたものである。
- ・この中の「主要テーマ4 町民が守り、育む伝統文化や景観を次世代に継承する」の「施策項目⑱ 海洋と島々の自然及び歴史・文化研究体制の構築と推進」の実施項目に掲げられている「(4) 各研究機関と連携した博物館・ビジターセンター等の新設の検討」が本構想である。
- ・本施設はこれの「博物館」の実現を目指す場として構想される。
- ・また、「施策項目⑰ 海洋と島々の特徴を活かした観光産業振興」「施策項目⑲ 海洋と島々の歴史・文化遺産の保全と活用」についても本構想を遂行する上で連携・調整が必要な項目である。

■竹富町海洋基本計画（第2次）

●理念

美ら海とともに生きる町・新たな発展と海洋立国への貢献

●主要テーマ

- ① 亜熱帯海域と島々の大自然及び豊かな生物多様性を育む貴重な生態系を保全する
- ② 島々の離島苦を克服し、災害に強い安全・安心な生活環境を実現する
- ③ 海洋及び島々の資源と特性を活かした産業振興を推進する
- ④ 町民が守り、育む伝統文化や景観を次世代に継承する
- ⑤ 国境離島地域の保全と振興を推進する

●施策項目

- ⑰ 海洋と島々の特徴を活かした観光産業振興
 - (1) 体験・滞在型観光につながる自然環境、伝統文化、景観、遺産、産業メニューの整理
 - (2) 各島の製品の掘起、創生
 - (3) 多言語化を含む周知広報
- ⑱ 海洋と島々の自然及び歴史・文化研究体制の構築と推進
 - (1) 包括連携協定を締結している琉球大学及び沖縄美ら島財団との協働による新たな自然と文化研究施設の創設
 - (2) 琉球大学、沖縄美ら島財団に加え、東海大学等の既存の研究施設及び沿岸域総合管理で連携している笹川平和財団も含めた連携体制の構築と、自然と文化情報の整理及び周知・発信
 - (3) 各研究機関と連携した人材育成制度の創設
 - (4) 各研究機関と連携した博物館・ビジターセンター等の新設の検討
- ⑲ 海洋と島々の歴史・文化遺産の保全と活用
 - (1) 竹富町歴史・文化遺産の保全と活用構想計画の作成
 - (2) 竹富町歴史・文化遺産の保全と活用整備事業の段階的实施
 - (3) 竹富町歴史・文化遺産の周知・広報(多言語説明を含む)

施策項目⑱ 海洋と島々の自然と歴史・文化研究体制の構築と推進

活動スケジュールと年度ごとの評価指標					
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
(1) 包括連携協定を締結している琉球大学及び沖縄美ら島財団との協働による新たな自然と文化研究施設の創設					
実施内容	1)新規研究施設	1)調査研究	1)調査研究	1)調査研究	1)調査研究
評価指標	1)新規研究施設誘致の実施	1)調査研究の開始(技術開発、普及啓発を含む)、実施数:2件	1)調査研究の継続(技術開発、普及啓発を含む)、実施数:3件	1)調査研究の継続(技術開発、普及啓発を含む)、実施数:4件	1)調査研究の継続(技術開発、普及啓発を含む)、実施:4件
(2) 琉球大学、沖縄美ら島財団に加え、東海大学等の既存の研究施設及び沿岸域総合管理で連携している笹川平和財団も含めた連携体制の構築と、自然と文化情報の整理及び周知・発信					
実施内容	1)連絡協議会	1)連絡協議会 2)竹富町自然と文化調査研究情報	1)連絡協議会 2)竹富町自然と文化調査研究情報	1)連絡協議会 2)竹富町自然と文化調査研究情報	1)連絡協議会 2)竹富町自然と文化調査研究情報
評価指標	1)連絡協議会設立の設立	1)連絡協議会の定期開催、開催数:3回 2)竹富町自然と文化調査研究情報の発信開始	1)連絡協議会の定期開催、開催数:3回 2)竹富町自然と文化調査研究情報の発信継続	1)連絡協議会の定期開催、開催数:3回 2)竹富町自然と文化調査研究情報の発信継続	1)連絡協議会の定期開催、開催数:3回 2)竹富町自然と文化調査研究情報の発信継続
(3) 各研究施設と連携した人材育成制度の創設					
実施内容	1)人材育成制度 2)講習会制度	1)人材育成制度	1)人材育成制度制定	1)人材育成制度開始	1)人材育成制度継続
評価指標	1)人材育成制度の検討開始 2)講習会制度の検討開始	1)人材育成制度の創設と開始 2)講習会制度の創設と開始	1)人材育成制度制定の継続 2)講習会制度の継続	1)人材育成制度制定の継続 2)講習会制度の継続	1)人材育成制度制定の継続 2)講習会制度の継続
(4) 各研究機関と連携した博物館・ビジターセンター等の新設の検討					
実施内容	1)博物館・ビジターセンター新設の調査研究	1)博物館・ビジターセンター新設の調査研究	1)博物館・ビジターセンター新設の調査研究	2)博物館・ビジターセンター新設事業計画	2)博物館・ビジターセンター新設事業計画
評価指標	1)博物館・ビジターセンター新設の検討開始	1)博物館・ビジターセンター新設の検討継続	1)博物館・ビジターセンター新設の検討継続	2)博物館・ビジターセンター新設の事業計画の作成	2)博物館・ビジターセンター新設の事業計画実現に向けた支援要請の開始

●将来の目標

- ⑮ - (1)：竹富町と関連する研究機関及び育成される人材と十分に連携する「竹富体が自然と文化の研究地域」を形成し、国内外の研究者に研究フィールドを提供するとともに、来町観光客にも高品質な自然と文化観光の提供を継続する。
- ⑮ - (4)：関連研究機関と連携する博物館・ビジターセンターの開設と継続運用

3. 竹富町観光振興基本計画

- ・竹富町観光基本計画は、平成 30（2018）年度から令和 4（2022）年度までの 5 年間で計画期間として策定されたものである。本計画では八重山全体とそれぞれの島々の個性を保存・継承しながら、いかに観光を推進していくかの課題と方針をまとめている。
- ・その中の基本方針 2「地域の魅力の創出」で挙げられている、「施策 6 受入態勢の整備」「施策 7 観光地の基盤整備」「施策 8 伝統文化の継承」を踏まえて本構想を検討する必要がある。
- ・また、平成 22 年 3 月 21 日に行った「竹富町観光立町宣言」は、観光資源・定住環境・来訪者満足度の調和を図る「観光まちづくり」の認識に基づき、行政、民間事業者、各島の町民や観光事業者等の意見交換を踏まえ、認識共有・合意形成を図り策定されたものである。本構想も本宣言を遵守する形で検討を進めていくものである。

竹富町観光立町宣言

私たち日本最南端に住む竹富町民は、
私たちがかけがえない島の宝を守り育て、
島人も旅人もともに幸せになれるまちづくりを通して、
豊かで誇りある生活を、子孫の代まで受け継ぐことを決意し、
ここに「竹富町観光立町」を宣言します。

一、私たちは、豊かな自然の恵みと、先人たちが育んできた文化を、
感謝の気持ちとともに大切に守ります。

一、私たちは、島々の多彩な個性を活かし、国内外から訪れるお客様を、
島人の誇りと笑顔と真心でお迎えします。

一、私たちは、一人一人が主役となって、鉄度も訪れていただける
“南の島”竹富町を、ともにつくり上げることを誓います。

平成二十二年三月二十一日 旧暦二月六日

「日本最南端の町」 沖縄県竹富町

■竹富町観光振興基本計画

●基本理念

島の個性を保存・継承しながら持続的な観光まちづくりを目指す

竹富町は、日本最南端に位置し、東西約 42km、南北約 40km の広範囲に点在する 16 の島々からなる島嶼の町である。

亜熱帯という気候条件と、陸域や海域に及ぶ地理的特性を持つ町域には、多種多様な動植物が生息・生育する大自然が広がる。先人たちは、この大自然との調和を保ちながら、今日の竹富町を築きあげるとともに、島々においては、豊かな自然環境を背景に個性的で魅力のある歴史や文化が生まれ、これらを継承・発展させてきた。

竹富町における観光を取り巻く状況の変化は、観光産業が町に経済効果を与える一方で、自然環境や地域住民に対する負担等の課題を生じさせ、観光における「持続可能性」を追求することが喫緊の課題である。観光の不十分な管理・運営は、伝統文化の消滅や、脆弱で貴重な自然環境と生物多様性の破壊等の原因となるため、計画性と責任のある持続可能な観光の普及・浸透が急がれる。

本計画では、竹富町が持つ個性である「自然環境」の保全と、「伝統文化」の継承をしながら、竹富町における将来世代の利益を損なうことなく、現在の利益を十分に確保する観光の在り方を考え、地域が主体となり、あらゆる資源を活かすことによって交流を振興し、活力あふれるまちを実現する活動に取り組むことを目的として、基本理念を「島の個性を保全・継承しながら持続的な観光まちづくりを目指す」とした。

●基本方針 2 「地域の魅力創出」(該当箇所抜粋)

施策 6：受入体制の整備より

観光客の増加に伴う、マナー問題の解決に取り組む。

外国人観光客に対しての案内については、小規模事業者でも多言語化対応ができるための取り組みを行う。

また、竹富町内で竹富町観光立町宣言(平成 22 年 3 月 21 日)及び本計画の認識共有・合意形成を行い、町民全体でのおもてなし意識の向上、持続可能な観光への取り組み推進を図る。

施策 7：観光地の基盤整備より

竹富町内の観光地において、ユニバーサルデザインを基本とした、アクセス路や遊歩道、駐車場、休憩施設、トイレ等のさまざまな施設整備事業を推進し、観光客の満足度を高める。また、トイレについては、発生する浄化槽汚泥を処理する施設の建設にも取り組む。案内標識等については、竹富町の景観条例に基づき、地域の特色に合わせた違和感の少ない表示方法を検討し、外国人観光客向けの多言語化対応を継続して進める。

また、文化財や景勝地の美化保全事業を進め、竹富町の個性豊かな景観の構築を継続して目指す。

施策 8：伝統文化の継承

竹富町史の島々編については、竹富島、小浜島、新城島、鳩間島編がすでに出版されているが、その他の島については出版されていないため、継続して出版に取り組む。

島の小中学校では、伝統文化等の地域文化資源について学習する時間を、継続して設ける。伝統文化の指導者・継承者の確保と育成に取り組むため、「竹富町織物事業協同組合後継者育成事業」を継続して行う。

また、訪れる観光客には伝統文化への理解を求め、マナーを守り、伝統文化に対する敬意を払ってもらうよう努める。

4. 竹富町景観計画

- ・竹富町は長い歴史の中で築き上げられてきた、沖縄の昔ながらの伝統的な赤瓦のまちなみを今に残す竹富島を始め、多くの島々が散在し、島々や各集落にはそれぞれの個性ある景観の特性を有している。
- ・竹富町景観計画では、本町は景観法に基づく施策とともに、「日本最南端の大自然と文化の町」を振興目標として、町民一人ひとりが景観づくりの主体となり、島々の誇りと個性を多様で魅力ある景観資源として最大限に活かすため、各島々にふさわしい景観計画を策定している。
- ・本構想においては各島々に設定された景観形成の将来像に則りながら景観づくりをすすめる必要がある。

竹富町景観計画

● 計画の将来像

「島々の誇りと個性がきらめき、大自然と文化とくらしがともに生きる景観しまづくり」

方針1「まもる」

(1) 島々の個性ある自然環境をまもる

島々の景観を代表する自然環境をまもり、育むため、島の骨格を形成する山並みや稜線、防潮林、海岸等を保全します。

(2) 島々独自の歴史・文化的景観をまもる

木造赤瓦屋根の家屋やフクギの屋敷林、石積み等で形成されている伝統的な集落景観の保全・回復に努めるとともに、緑と一体となった御嶽等の地域の祭事空間の保全及び適切な維持管理に取り組みます。また、それぞれの地域で受け継がれている多彩な伝統芸能や祭り等の保全・継承に努めます。

方針2「そだてる」

(1) 生業の景観をそだてる

一面に広がるさとうきび畑やパインアップル畑等の農地及び牛が放牧された牧場の景観等、それぞれの地域特性を活かした農地景観の維持・保全を図ることで、生業の景観をそだてます。

(2) もてなしの景観をそだてる

本町の多彩で優れた景観資源を観光振興の資源として活かすことで、地域の活性化を図ります。また、地域一体となったイベントの開催や清掃活動、集落や沿道の緑化活動等をすすめることで、もてなしの景観をそだてます。

(3) 町民、事業者、行政等の連携による景観づくりをそだてる

景観づくりをすすめるためには、町民、事業者、行政等それぞれの主体が、自らの役割を認識し、相互に連携・協働し取り組むことが必要です。そのため、良好な景観形成に関する各種情報の提供、普及に努め、町民等の意識醸成を図るとともに、町民等の主体的・継続的な活動を支援します。行政内においては、景観法に基づく取り組みの推進と併せて、自然公園法をはじめとした各種法制度や事業と連携した総合的・横断的な景観づくりをすすめます。

方針3「おさめる」

(1) おさめる景観づくり

民間の大規模開発や公共施設の整備については、地域の自然景観や集落景観等を阻害しないよう配慮した「おさめる」景観づくりをすすめます。

また、主要な道路については、それぞれの地区の特性に応じた道路施設の整備、街路樹の保全及び適切な管理による良好な道路景観の形成・保全を図ります。

1. 類似施設データからの利用者数の目安

(1) 類似施設から回答があった数値について

- 各施設の㎡あたり年間利用者数、周辺観光客のうち各施設を訪れた比率を算出した。
数値にはかなり幅があるが、沖縄県内の施設の㎡あたり年間利用者数は、ユンタンザミュージアム 17.5 人、西表野生生物センター22.1 人、黒島ビジターセンター22.4 人、八重山博物館 16.0 人、沖縄県立博物館・美術館 21.3 人と、各施設とも 16～22 人程度の似通った数値となっている。
- 竹富島ゆがふ館は、港ターミナルから徒歩圏のメインストリート沿いでアクセスが良好であり、積極的に団体受け入れを行っていること、さらに旅行者や団体に対して竹富島を観光する際には、ビジターセンターで学んでから観光するよう働きかけるなどの運営努力もあり、㎡あたり年間利用者数が 137.6 人と飛び抜けて多い。

類似施設・周辺施設の利用者数

施設名称	A 延床面積 (㎡)	B 利用者数 (年、人)	C 利用者数/㎡ (B÷A)	D 観光客数	E 観光客誘引率 (B÷D)
ひがし大雪博物資料館&ぬかびら源泉郷ビジターセンター	970.1	108,503	111.8	439,000 (上土幌町、2017)	24.7%
御蔵島観光資料館	479.67	2,946	6.1	9,968 (御蔵島、2018)	29.6%
南風原文化センター	1840.36 ※センター全体	12,629	6.9	-	-
世界遺産座喜味城跡 ユンタンザミュージアム	4,042.0	32,162	17.5	160,000 (座喜味城周辺、 2017)	20.1%
だて歴史文化ミュージアム	2,066.27	24,510 ※本館展示場と 体験学習館の 合計	24.2	1,630,000 (伊達市、2019)	1.5%
知床世界遺産センター	758.34	122,632	161.7	1,165,149 (斜里町、2019)	10.5%
白神山地ビジターセンター	2,972.0	50,623	17.0	388,577 (白神山地、2019)	13.0%
竹富島ビジターセンター 竹富島ゆがふ館	627.32	86,305	137.6	512,388 (竹富島、2019)	16.8%
西表野生生物保護センター	704.22	15,571	22.1	224,493 (西表東部、2019)	6.9%
西表国立公園 黒島ビジターセンター	165.87	3,722	22.4	23,655 (黒島、2019)	15.7%
石垣市立八重山博物館	644.05	10,337	16.0	1,471,691 (石垣島、2019)	0.7%
八重山平和祈念館	520	4,196	8.1	1,471,691 (石垣島、2019)	0.3%
沖縄県立博物館・美術館	23,721	504,894 (2019)	21.3	8,704,727 (那覇市、2018)	5.8%

※白神山地の秋田県側の観光客数(2019)：八峰町(369,058)、藤里町(19,519)を合計=388,577人

※沖縄県立博物館・美術館は年報に記載された面積・利用者数を掲載

- ・一方、周辺観光客に対して各施設の利用者がどの程度の比率を占めているかについて、周辺観光客数を施設の年間利用者数で割った数値を観光客誘引率と想定した。
 沖縄県内の施設では、ユンタンザミュージアムが最も高く 20.1%、竹富島ゆがふ館 16.8%、次いで黒島ビジターセンター15.7%、西表野生生物センター6.9%となっている。
- ・また、ぬかびら源泉郷、知床、白神山地などのビジターセンターでは観光客誘引率が比較的高く、だて歴史文化ミュージアム、八重山博物館、沖縄県立博物館・美術館などの博物館施設では観光客誘引率が低い傾向にあるといえる。

(2) 本拠点施設の利用者数の考え方 (※西表島東部に拠点を設置すると仮定した場合)

- ・西表島の観光客数は、2015 年度に 38 万 8 千人となって以降減少傾向にあり、2019 年度は 290,313 人（うち東部 224,493 人、西部 65,820 人）である。
 過去に国内で世界自然遺産登録された地域の観光客数は登録前に比べて増加する傾向にあるが、沖縄県ではオーバーツーリズム防止の観点から、ピーク時の 1 日当たりの入域観光客数を基準値で 1,230 人、年間では過去 10 年間で平均した数値 33 万人に設定する方針であることが発表された。(2020 年 1 月 21 日付 八重山毎日新聞社)

利用者数の可能性 (案 1 : 観光客誘引率からの類推)

西表島観光客数 330,000 人 × 観光客誘引率 16.8%

=約 55,000 人 (55,400 人)

※観光客誘引率を竹富町ゆがふ館と同様とした場合

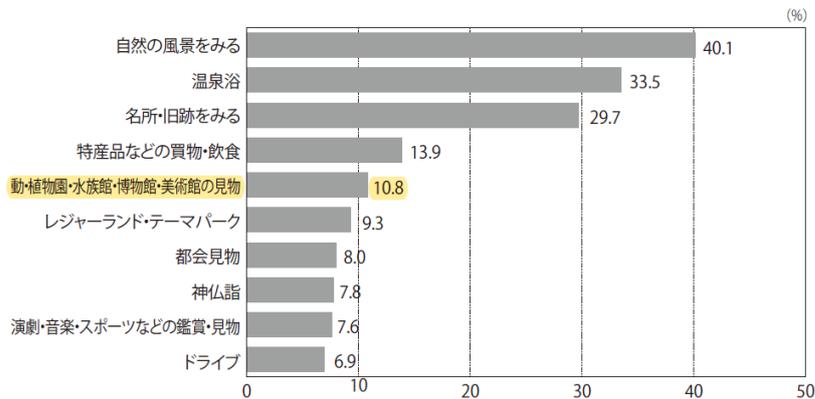
利用者数の可能性（案 2： 観光客の旅先での行動比率からの類推）

- ・日本旅行業協会が発行する『数字が語る旅行業 2019』では、旅先で博物館・美術館などを訪れる国内外観光客の比率を発表している。

【国内観光客】

4 宿泊観光旅行の旅先での行動トップ10(2017年度)(複数回答)

旅先での行動について上位3項目は、2016年度と変わらず、「自然の風景をみる」「温泉浴」「名所・旧跡をみる」の順であったが、3項目とも数字を伸ばしている。

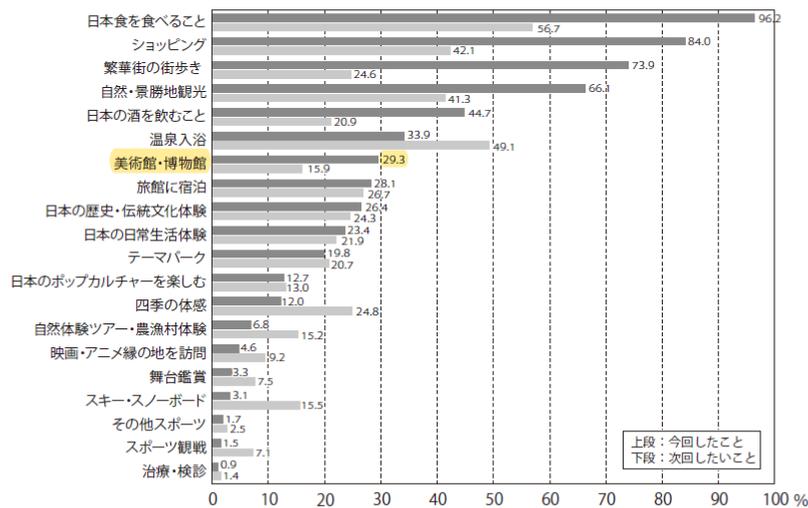


出典：日本観光振興協会「平成30(2018)年度版 観光の実態と志向」(2019.3)

【訪日外国人観光客】

5 訪日外国人旅行者が今回したことと次回したいこと(2018年)

次回の訪日旅行でしたいことは、「日本食を食べること」(56.7%)、「温泉入浴」(49.1%)、「ショッピング」(42.1%)、「自然・景勝地観光」(41.3%)の順であった。



出典：観光庁「訪日外国人の消費動向」平成30(2018)年 年次報告書」(2019.3)

- ・国内観光客の 10.8%、訪日外国人観光客の 29.3%が博物館・美術館等を訪れている。
このことから、西表島を訪れる国内外観光客数を類推し、利用者数を試算する。

【参考資料】西表島における観光利用の現況と課題

(環境省 九州地方環境事務所、平成 28 年度)

表 1 西表島の観光入込及び宿泊の状況 (推計)

地区	入込客数			
	県内	県外	海外	地区全体
東部	30,315 9.4%	285,411 88.5%	6,772 2.1%	322,498 83.1%
西部	6,153 9.4%	57,927 88.5%	1,375 2.1%	65,454 16.9%
西表島 全体	36,467 9.4%	343,338 88.5%	8147 2.1%	387,952 100%

※各地区の県内、県外、海外の割合は各地区全体に対する割合。
地区全体の割合は、西表島全体に対する割合。県外には海外含む。

- ・環境省九州地方環境事務所では、平成 28 年度「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島世界自然遺産推薦地」地域連絡会議において、『(資料 3) 西表島における観光利用の現況と課題』の中で、西表島における国内・国外観光客の比率について上記表の通り、とりまとめている。

○日本人観光客 $330,000 \times (9.4\% + 88.5\%) = 323,070$ 人

旅先で博物館を利用する比率 10.8% → 日本人利用者 約 34,900 人

○外国人観光客 $330,000 \times 2.1\% = 6,930$ 人

旅先で博物館を利用する比率 29.3% → 外国人利用者 約 2,000 人

※上記表では「県外には海外含む」となっており、実際には海外客がもっと多い可能性がある。

旅先での行動比率から、西表島観光客数 330,000 人のうち

日本人利用者約 34,900 人 + 外国人利用者約 2,000 人

= 約 40,000 人 (36,900 人)

案 1, 案 2 の結果から、本拠点施設の利用者は 約 40,000 人~55,000 人程度 と類

推される。

2. 施設規模の考え方

(1) 利用者数の可能性からの面積類推

・ P.34 に掲載した m^2 あたりの年間利用者数を手がかりとし、利用者数の可能性から施設面積の目安を立てる。

・ m^2 あたりの年間利用者数は、ユンタンザミュージアム 17.5 人、西表野生生物センター22.1 人、黒島ビジターセンター22.4 人、八重山博物館 16.0 人、沖縄県立博物館・美術館 21.3 人であり数値が似通っていることから、これらの平均値を算出すると約 20 人/ m^2 となる。

・ 年間利用者を 40,000 人～55,000 人と仮定すると

$$40,000 \div 20 = \text{約 } 2,000 \text{ m}^2$$

$$55,000 \div 20 = \text{約 } 2,750 \text{ m}^2$$

m^2 あたりの年間利用者数から

施設面積は約 2,000 m^2 ～2,800 m^2

(2) 必要と考えられる諸室からの面積類推

【文化振興・観光交流施設として想定される主な機能】

1 エントランスホール	待ち合わせ、団体の集合、総合受付などを有するロビー。
2 観光案内機能 70 m ²	観光情報の提供、イベント情報、特産品紹介などを行う。 各島の見どころ紹介映像の上映、情報検索なども想定される。
3 展示機能 900 m ² (常設展示 700、 企画展示 150、 体験展示 50) ※子ども向け展示は 体験展示室に含む	常設展示室 : 資料や標本などを常設する展示空間。
	企画展示室 : 特別展示、企画展示を行う空間。 展示替えに対応する展示準備室も想定される。
	子ども向け展示室 : 未就学児など、低年齢の子どもと親が 利用する、遊びと学びの展示。
	体験展示室 : 触れる展示 (ハンズオン) に特化した展示。 例) 道具、楽器、着せ替え等
4 収蔵機能 600 m ²	一般収蔵庫 : 標準的な収蔵環境で保存可能な土器、石器などを保管する。
	特別収蔵庫 : 重要文化財など、特に厳密な温湿度の管理が必要な資料を保管する。
	一時保管庫 : 展示替え資料や、借用資料などの一時保管室。
5 調査・研究機能 100 m ²	研究室 : 学芸員などの研究者の作業室
	研究に付随する機能として、資料庫 (書庫)、写真室、実験室などが想定される。
6 教育普及機能 200 m ²	講座室、集会室、学習室 : 講座の開催や、自習に供する空間。
	図書室 : 図書閲覧に供する空間。
	学校団体向けの実験室なども想定される。
7 交流・サービス機能 600 m ²	多目的ホール : 発表会、シンポジウム等を開催する。
	休憩・飲食スペース : 休憩、軽飲に供する空間。
	ショップ : 観光ニーズを満たす土産、本施設のオリジナルグッズ、書籍などを販売する。
8 事務・管理機能 180 m ²	事務室 : 職員の事務スペース。
	館長室 : 施設責任者の部屋。
	打ち合わせ、応接室 : 会議用の部屋。
9 その他、共用部 900 m ²	更衣室、トイレ、給湯室、倉庫等。エントランスホール含む。 延べ床面積の 30%程度、今回は約 25%と想定。
合計	3,550 m ²

- ・前頁に、本拠点施設で想定される主要な諸室を挙げた。県内類似施設等の部門別面積も踏まえて、必要と考えられる面積を類推する。

1 エントランスホール

共用部として、「9 その他、共用部」に含む。

2 観光案内機能 : 70 m²

団体バス 1 台分、40 人を収容すると仮定し、小中学校の教室 1 室分の面積として 70 m²程度と想定する。

【参考】

- ・昭和 25 年の「鉄筋コンクリート造校舎の標準設計」の教室は 63 m²
- ・平成 17 年、文科省「学校施設整備指針策定に関する調査研究協力者会議（第 41 回）」の報告では、一般的には 8m × 8m = 64 m²の教室が多い
- ・学校教室の国庫補助基準面積では 74 m²

本拠点施設は、観光交流に資する場でもある。

世界自然遺産登録地として、今後増加する国内外観光客への情報提供機能をもち、貴重な動植物が生息する地域への入域ルール、回遊ルートなどを紹介するほか、地域の見どころや特産品など、観光ニーズを満たす情報も紹介する。

3 展示機能 : 900 m²

常設展示 700 m²、企画展示 150 m²、体験展示室 50 m²

展示資料の大きさや配置が具体的に決まっていないため、県内の類似施設事から想定。南風原文化センターの展示面積 674.6 m²、ユンタンザミュージアムが約 1,200 m²。本拠点施設では、現在町が所有している標本の実物展示、昔の民家の原寸大再現などが考えられ、一定の面積規模は必要となるため、事例 2 施設の中間値を想定。

【参考】

- ・別紙の「類似施設の部門別面積まとめ」を参考とする。
- ・企画展示室について。石垣市民会館の展示ホールは約 145 m²であることから、本拠点施設も同程度の 1500 m²程度の企画展示室と設定。
- ・体験展示室の面積は、小中学校の教室程度の面積が確保できれば問題ないと想定。

4 **収蔵機能** : 600 m²

南風原文化センター、ユンタンザミュージアムでは、展示面積（延べ床面積の約 30%～37%）に対して、収蔵面積はおおむね 25%程度となっていることから、これを参考とする。

一般収蔵庫、特別収蔵庫の区分については、その必要性も含めて今後精査する。

5 **調査・研究機能** : 100 m²

回答があった国内類似施設の平均は約 106 m²であることから、同程度の規模を想定。

6 **教育普及機能** : 200 m²

講座・学習室 140 m²、図書スペース 60 m²

講座室、学習室など、町民が自主的に活動するスペースを、小中学校の教室 2 室分、70 m²×2=140 m²と想定。

文化振興に資する施設として、図書やデータベース等の閲覧スペースを 60 m²と想定。

【参考】

- ・別紙の「類似施設の部門別面積まとめ」では、教育普及部門の面積は、南風原文化センター 233.6 m²、ユンタンザミュージアム 116 m²、ゆがふ館 126.5 m²で、今回の想定面積 240 m²は妥当な規模と考えられる。

7 交流・サービス機能 600 m²

休憩兼軽飲食スペース・ショップ 200 m²、多目的ホール 400 m²

休憩を兼ねた軽飲食スペース及びショップを 200 m²と想定。

たとえば団体客の休憩・待ち合わせスペースや、ミニイベントコーナーとして活用するなど。

【参考】 池袋メトロポリタンホテル宴会場 200 m²の利用イメージ

分類	室名	仕切	階数	面積 (m ²)	天井高 (m)	スタイル別 収容人数 (名)			
						正餐	立食	スクール	シアター
大宴会場	富士	全室	3 F	680	5.7	450	700	480	800
		ABC		452		270	350	380	480
		BCD		432		230	320	360	450
		AB		338		200	250	240	380
		CD		319		200	250	220	330
		A		224		120	150	180	250
		BC		225		120	150	180	250
		D		204		100	120	150	220
中宴会場	桜		4F	303	2.8	150	230	180	330
	カシオペア		3F	236	2.7	100	140	150	220
	光			218		100	120	130	220
	朝日	全室		197		80	100	120	180
		A	103	3	40	50	45	70	
		B	91	30	40	40	70		
	暉		2F	259	3	100	140	150	250
	夕鶴			128		60	60	70	130

多目的ホールについては、石垣市民会館の中ホールが 418 m² (定員 300 名) であることから、これと同程度の規模を想定し、研究者が参加するシンポジウム、親子で参加できるイベントの開催等、多目的な活用を図る。

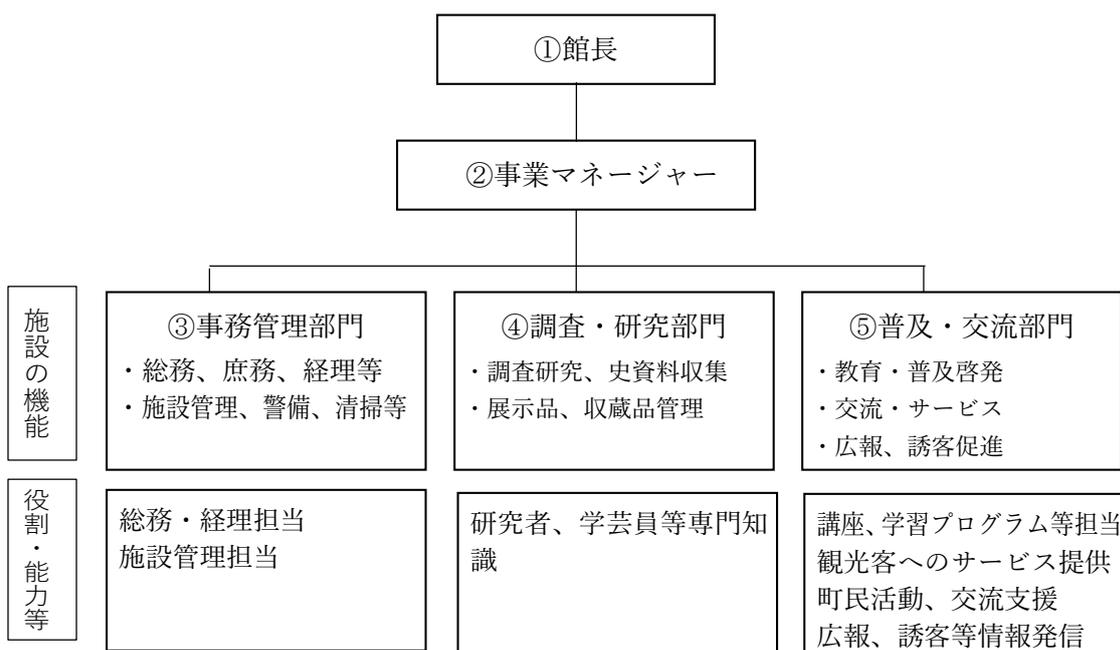
8 事務・管理機能 180 m²

事務所スペース約 120 m²、館長室 20 m²、会議・打合室 40 m²

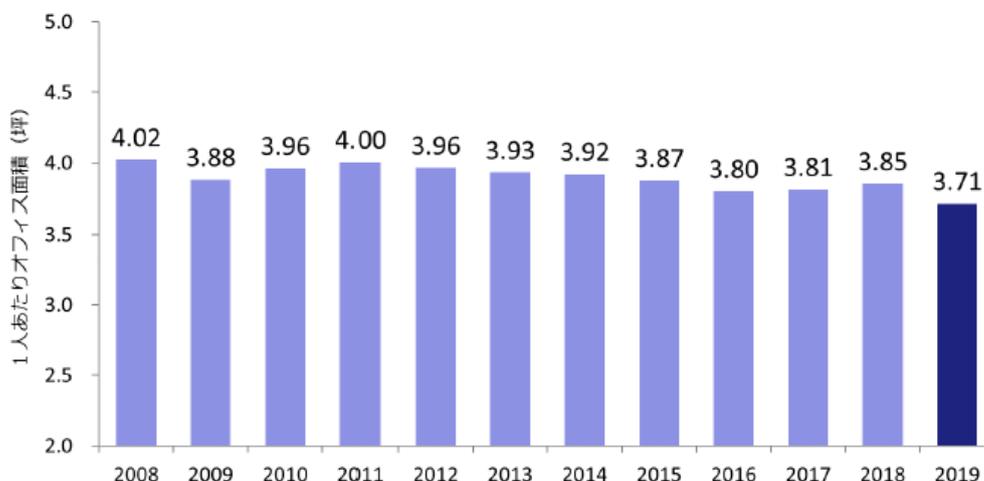
運営人員数を想定し、必要面積を類推。

館長 1、事業マネージャー 1、事務管理部門 2、調査研究部門 4、普及交流 2、合計 10 名と想定。

1 人あたりのオフィス面積を 3.71 坪 (12.2 m²) とすると、事務所スペースは 122 m²。



【参考】 2019 年 1 人あたりオフィス面積 (東京都内) ザイマックス総研



9 その他、共用部 900 m²

トイレ、エントランスホール、通路・階段、倉庫、機械室、搬出入バックヤード等を含む

- ・観光繁忙期にも考慮したエントランススペース
- ・多目的トイレ、授乳室など
- ・倉庫スペースは、運営備品、パンフレット等の印刷物、展示用什器など、多様な物品を収納する必要がある

必要と考えられる諸室面積の合計から

施設面積は約 3,550 m²

まとめ

A案： 施設利用者数からの類推 2,000～2,800 m²

B案： 必要諸室面積からの類推 3,550 m²

以上から、本拠点施設の面積規模を 2,000～3,550 m²の範囲と想定して検討を進める。

資料編⑤類似施設事例

	施設名称	設置主体	運営主体	開館年	延床面積 (㎡)	利用者数 (年)	諸室面積 (㎡)	職員数	利用料金	備考
1	施設A 歴史資料館 (複合文化センター内)	A市		2017年7月						施設から回答なし
2	施設B 郷土資料館 (市文化センター)	B市		1994年4月	847.38 (資料館部分のみ) 5991 (施設全体延床)		・文化ホール 3127.7 ・平賀公民館 1212.97 ・自転車置場 14.22 ・平賀図書館 788.99 ・郷土資料館 847.38			・文化ホール、B公民館、郷土資料館、B図書館の複合施設
3	施設C 歴史博物館	C市	指定管理: 民間企業 (令和2年度)	2003年3月	2401.4	※指定管理初年度のため実績なし	・映像機器室 12.15 ・情報コーナー、展示ギャラリー2、展示ロビー 202.10、・展示室1 138.72 ・展示室2 78.52、・展示室3 28.91 ・特別展示室 60.37、・展示倉庫 40.68 ・倉庫1 2.62、・特別収蔵庫 57.60 ・一般収蔵庫 79.38 ・前室 31.20、・荷解室、廊下3 95.16 ・機械室2 21.69、・ホール 183.95 ・ステージ 60.39、・ロールバック収納庫 29.66、・階段室1 39.23 ・ロビー2、廊下1 125.66 ・控室1、2 37.46、・化粧室 9.72 ・ピアノ置き場、廊下2 63.15 ・倉庫3 16.35、・EVシャフト 6.00 ・廊下4 60.00、・映写室 10.98 ・機械室3 49.51、・エントランスホール、展示ギャラリー1 157.10、・風除室2 5.61、・ロビー1 53.01 ・カフェテリア 71.79 ・男子便所 22.46、・女子便所 22.55 ・多目的便所 5.53、・授乳室 4.86 ・体験工房 45.36、・倉庫2 7.29 ・事務室 67.30、・湯沸室 4.62 ・印刷室 8.21、・更衣室 6.69 ・消火ポンプ室 12.38 ・ガス消化ポンペ室 16.16 ・機械室1 21.73、・研究室 48.78 ・倉庫4 97.20、・控室 11.70 ・階段室2 8.35、・廊下5 21.89	・館長1 ・副館長(学芸員) 1 ・専任職員1 ・業務補助職員2 ・受付担当職員5	常設展200円 (団体160円)	・4つの展示室と、講演会、レセプションなどに使用できる交流用のホールとの複合施設。
4	施設D 郷土資料館	D町	D町教育委員会	1975年 2008年移転、再開					無料	施設から回答なし

資料編⑤類似施設事例

5	施設E 歴史民俗資料館	E支庁	E支庁	1975年5月 ※移転前施設	688.93 ※移転前施設	18728 (2017) ※移転前施設 6496 (2019) ※移転後			100	※現在、老朽化のため建物の 使用中中止
6	施設F 郷土資料館	F市	F市	2020年6月1日	約434	※2020年6月 オープンのため 集計不能	・第一展示室 約80 ・第二展示室 約100 ・収蔵庫 約100 ・事務室 約20	・館長1 ・学芸員1(再任用) ・一般行政1(再任用)		・既存の小学校校舎老朽化 に伴い、郷土資料館・子育て センター・放課後児童クラブ の複合施設として小学校敷地 内に開館。郷土資料館は新 設。
7	施設G 市立博物館	G市		2000年3月(博物 館化) ※前身の郷土資 料館は1990年4月	1497.272	・30,666 (2016) ・4846 (2017) ※改装工事の ため、2ヶ月間 のみの実績	【1F】 ・一般収蔵庫 256.094 ・機械室 24.375、・前室 11.295 ・特別収蔵庫 47.205 ・荷解室 55.875、・整理室 58.353 ・燻蒸室 11.424 ・エレベーター機械室 9.405 ・エレベーター 7.442 ・屋外倉庫 15.990 【2F】 ・常設展示室 273.965 ・特別展示室 59.850 ・展示倉庫 20.675 ・展示ホール(1) 139.750 ・展示ホール(2) 88.128 ・エントランスホール 103.131 ・休憩コーナー 41.520 ・学習研修室 62.779、・倉庫 10.464 ・図書室 28.101、・管理室 38.558 ・風除室 7.360、・湯沸室 7.848 ・学芸研究室 44.050 ・多目的トイレ 5.256 ・女子トイレ 10.468 ・男子トイレ 10.361 ・エレベーター 7.500 【R階】 ・階段 15.846 ・階段ホール 15.944 ・エレベーター 8.250	・教育長1 ・生涯学習スポーツ部長1 ・館長(学芸員)1 ・学芸員3 ・自然調査(非常勤)1 ・事務(非常勤)3 ・施設管理(派遣)1	無料	・2018年4月リニューアル オープン
8	施設H 資料館&ビジターセンター	環境省、 H町	環境省 H町	2013年5月	・ビジターセン ター 469.38 ・資料館 500.72 (合計 970.1)	108,503 (2019)		・課長館長1 ・主幹1(施設管理) ・主査(学芸員:自然)1 ・学芸推進員1(自然) ・職員2(観光) ・自然館運営協議会議員 (自然)1	無料	

資料編⑤類似施設事例

9	施設I ビジターセンター			2018年4月	722.04		・施設概要:休憩室・情報コーナー、展示室、管理事務所、トイレ、倉庫			施設から回答なし インターネットで公開されている 情報を掲
10	施設J 観光資料館	J村	一般社団法人	2009年4月	479.67	・2946 (2017) ・252人 (2019) ※郷土資料館 のみ	・事務室 28.00 ・陳列室 142.66 内、1F郷土資料展示室 61.41 2F自然資料展示室兼ガイダンス ホール 81.25 ・資料保管室 58.50 ・宿泊所兼集会室 64.5	・学芸員補3 *管理受託する御蔵島観 光協会の職員があたる	・郷土資料館部 分のみ100円/1人	
11	施設K 文化センター	K町	K町教育委員会	1989年11月	982 *センター全 体1840.36	12629 (2019)	・常設展示室 500.55 ・企画ホール 153 ・織物収蔵室兼展示スペース:ギャラ リーさゆん 21 ・学習交流室 80 ・図書資料コーナー 100 ・職員室(事務室)64.8 ・収蔵庫(3層)約494 ・映写室 54.6 ・風除室 ・サークル室 ・応接室 ・会議室 ・休憩室 ・便所(男・女・多目的) ・機械室 ・廊下	(・町生涯文化課課長1) ・館長1 ・学芸員:考古1、民俗学 2 ・職員(文化)1 ・会計年度任用職員:受付 2、清掃1、壕管理2	【町内】 ・すべて無料 【町外】 ・小学生 150 ・中高生 200 ・一般 300	
12	施設L ミュージアム	L村	L村	2018年6月 リニューアル オープン	4,042	26,636 (2019)	【新館1F】 ・展示室1 254.47 ・講座室 95.97 【新館2F】 ・企画展示室 256.00 ・準備室(小企画展示室) 92.95 【旧館2F】 ・展示室2 312.93 ・事務室 84.19 ・文献室 20.02 【旧館3F】 ・展示室3 281.37 新館収蔵庫 251.59 旧館地下収蔵庫 640 旧館3階収蔵庫 158.4	・館長1 ・庶務6 ・学芸担当3	【村内】 ・幼児 無料 ・小中学生 無 料 ・高校生以上 200 ・65歳以上 160 【村外】 ・幼児 無料 ・小中学生 300 ・高校生以上 500 ・65歳以上 400	

資料編⑤類似施設事例

13	施設M 歴史文化ミュージアム	M市	M市	・本館2018・体験学習館1999・アートホール2005	1498.52 (本館) 567.75 (体験学習館)	18650 (本館展示場) 5860 (体験学習館合計)	<p>【1F】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風除室1 8.400、・風除室2 6.960 ・廊下1 186.910 ・インフォメーションライブラリースペース 165.104 ・体験・レクチャースペース 150.072 ・収納 40.210、・管理事務室 30.892 ・WC通路 15.336、・授乳室 3.960 ・多機能WC 6.006、・男子WC 14.577 ・女子WC 19.089、・風除室3 3.068 ・廊下2 31.082 ・サービスヤード 54.469 ・荷解き室 15.085、・物品庫2 7.000 ・ハロン消化設備室 8.000 ・消化ポンプ室 10.075 ・階段2 9.486、・EV 6.665 ・ショーケース 4.538 <p>【2F】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廊下3 64.175、・前室 27.300 ・展示室 191.004、・物品庫 13.650 ・特別展示室 91.164 ・収蔵庫前室 7.125 ・収蔵庫 146.190 ・廊下4 7.759、・機械室 98.599 ・階段1 11.651、・階段2 9.302 ・EV 6.665 	<ul style="list-style-type: none"> ・館長1 ・学芸係長1 ・学芸員1 ・会計年度任用職員2 (内、1名学芸員) 	一般 300 小・中学生 200	
14	施設N 世界遺産センター	環境省		2009年4月	758.34	122,632 (2019)			無料	
15	施設O ビジターセンター	環境省	指定管理: 県森林組合連合会 (令和2年度)	1998年10月	2972	50623 ※映像ホール 9204 (2018)	<ul style="list-style-type: none"> ・展示ホール 660 ・映像体験ホール 761 ・情報図書コーナー ・事務室 ・会議室 ・工作室 		無料 (大型映像観覧は大人200、子供100)	施設から回答なし インターネットで公開されている情報を掲
16	施設P 世界遺産センター	環境省		1996年4月、 2014年5月リ ニューアル	694.07				無料	施設から回答なし

資料編⑤類似施設事例

17	施設Q 博物館(仮称)・歴史研究センター(仮称)	Q市		2022年予定	敷地面積 6,104.05 博物館、研究センター、両施設共用部の合計で約5,000㎡	目標値 約95,000人	<p>【1階】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常設展示(導入展示室含む)652.26 ・企画展示室A,B ・ギャラリー ・エントランスロビー ・展示ロビー ・体験学習室 ・市民交流展示 ・準備室、展示準備室 ・一時保管庫、荷解室、燻蒸室 ・市事務室 ・フリースペース、ショップ <p>【2階】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収蔵庫 ・県事務室(保存修復室、資料閲覧室、研究兼会議室、調査研究室) ・会議室 ・多能的室 ・ホワイエ ・ボランティア室、控室 	<ul style="list-style-type: none"> ・館長1 ・副館長1 ・学芸4(歴史、考古、美術工芸、民俗) ・事務系職員2 ・利用者サービス(受付、もぎり、ショップ)12 <p>合計20</p>		
18	施設R 野生生物保護センター	環境省 R県 R市		1997年8月	811.6		<ul style="list-style-type: none"> ・展示室 ・視聴覚室 ・事務室 ・研究実験室 ・保護観察棟 ・野外飼育ゲージ ・検疫飼育舎 		無料	施設から回答なし インターネットで公開されている情報を掲
19	施設S ビジターセンター	環境省	NPO法人 (令和2年度)	2004年6月	627.32	86305 (2019)	<ul style="list-style-type: none"> ・運営サービスゾーン 88.5 ・シアターゾーン 137.5 ・オブジェクトゾーン 115 ・アクティビティゾーン 79 	<ul style="list-style-type: none"> ・館長0 ・VC職員3程度 	無料	・前身はS50設立。老朽化により、H15にビジターセンターとして新設。

資料編⑤類似施設事例

20	施設T 野生生物保護センター	環境省、 T県(展示)		1995年7月	704.22	15571 (2019)	<p>【1F】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風除室 9.720 ・展示室1 195.000 ・展示室2 42.250 ・AV室 42.250 ・収蔵室 5.510 ・リハビリ室 51.700 ・倉庫 13.300 ・事務室 31.500 ・前室 13.000 ・便所 29.250 ・階段室 29.200 ・倉庫 7.540 <p>【2F】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務室 74.0600 ・フリーザー室 10.4400 ・便所 29.2500 ・休憩室 18.2000 ・茶道室 18.5000 ・会議室 17.5000 ・階段室・廊下 53.0000 ・倉庫 13.0500 	<ul style="list-style-type: none"> ・館長 0 ・環境省 6 ・T県兼任契約事務 1 ・T町(地域おこし協力隊) 1 	無料	
21	施設U ビジターセンター	環境省	Uビジターセン ター管理委員会 (令和2年度)	1983年12月	165.87	3722 (2019)		<ul style="list-style-type: none"> ・館長0 ・VC職員3程度 		
22	施設V 市立博物館	V市		1972年10月	644.05	10337 (2018)	<p>【1F】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常設陳列室 305.20 ・特別陳列室 81.60 ・トイレ・倉庫 27.20 ・空気調節機室 12.45 ・事務室・館長室 81.60 ・資料室 27.20 ・ロビー 54.40 <p>【地下】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地下収蔵庫 54.40 	<ul style="list-style-type: none"> ・館長1 ・管理係長1 ・館長補佐兼学芸係長1 ・学芸員(歴史・民俗全 般) 1 ・任用職員2 	<p>大人 200 学生・生徒 100 児童(小学生) 無料</p>	
23	施設W 平和祈念館	W県		1999年11月	520	4196 (2019)	<ul style="list-style-type: none"> ・第1展示室 130 ・第2展示室 120 ・保管室 20 ・図書室 30 ・会議室 45 ・事務室 30 	<ul style="list-style-type: none"> ・分館長1 ・主査1 	<p>大人 100 小～大学生 50</p>	

資料編⑤類似施設事例

24	施設X サンゴ礁保護研究センター	※4月から閉館中	X基金	2000年春						施設から回答なし
25	施設Y 市民会館	Y市	Y市観光文化課	1986年6月	6636.8		・大ホール 1,679(定員1,010) ・中ホール 418.0(定員300) ・会議室 75.6(定員48) ・展示ホール 145.2			施設から回答なし インターネットで公開されている 情報を掲
※空欄は回答無し ※施設の整備費、年間運営費についての回答は非公表とする										